

おい町
一般廃棄物（ごみ）処理
基本計画

令和8年3月

おい町

目 次

第1章	計画の策定における基礎的事項.....	1
1.	計画策定の趣旨	1
2.	計画の位置づけ	2
3.	計画の期間	2
4.	計画の進行管理	3
第2章	地域概況	4
1.	地勢	4
2.	気候特性	5
3.	社会環境の動態	6
4.	産業構造	8
5.	主要な交通	9
6.	土地利用の状況	10
7.	上位計画との関連	11
第3章	ごみ処理の現状と課題.....	12
第1節	ごみ処理に関する基礎的事項	12
1.	沿革	12
2.	処理体制	13
3.	ごみ排出量の実績	17
4.	ごみの減量化・再生利用の実績	19
5.	ごみ処理の実績	20
6.	処理経費	21
第2節	ごみ処理の評価及び課題	23
1.	ごみ処理の評価	23
2.	ごみ処理の課題	24
第4章	ごみ処理基本計画.....	26
第1節	基本方針	26
第2節	ごみ排出量及び処理量の予測	28
1.	将来人口	28
2.	ごみ排出量の推計結果	28
3.	国及び県の目標との比較	31
第3節	ごみ減量化計画	32
1.	目標設定の手順	32

2.	目標値の設定.....	33
3.	目標を達成するための削減量（参考）	34
4.	目標を達成した場合のごみ排出量など.....	35
5.	基本方針に基づく主な施策.....	37
6.	町民の役割	38
7.	事業者の役割.....	38
8.	行政の役割	39
9.	食品ロスの削減.....	40
10.	プラスチックごみ対策	41
11.	リチウムイオン電池対策.....	43
第4節	収集運搬計画.....	44
1.	収集運搬に関する目標	44
2.	収集区域.....	44
3.	収集運搬方法及び量.....	44
第5節	中間処理計画.....	45
1.	中間処理に関する目標	45
2.	中間処理の方法及び量	45
第6節	最終処分計画.....	46
1.	最終処分に関する目標	46
2.	最終処分の方法及び量	46
3.	持込ごみの受入基準の検討.....	46
4.	施設の将来見通し、整備方針	46
第7節	災害廃棄物の処理	47
1.	基本的な考え方	47
2.	処理の基本方針と実施	47

第1章 計画の策定における基礎的事項

1. 計画策定の趣旨

廃棄物は、日常生活や経済活動を行う上で必ず生じるものですが、持続可能な社会の実現のためには、排出量を削減し、できるだけ環境負荷を抑えた適正処理の実施が必要です。おおい町（以下「本町」という。）では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき、平成28年度に一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「前計画」という。）を策定し、排出抑制・資源化の推進、安全で効率的なごみ処理に努めてきました。

その後、現在に至るまでに、国は「循環型社会形成推進基本法」（平成12年法律第110号）に基づき、「第4次循環型社会形成推進基本計画」が平成30年6月に策定・閣議決定されました。また、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる食品ロスに関して、「食品ロスの削減の推進に関する法律」（令和元年法律第19号。以下「食ロス削減推進法」という。）が令和元年10月に施行されました。さらに、プラスチックに関しても「プラスチック資源循環戦略」が令和元年5月に策定され、令和4年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（令和3年法律第60号。以下「プラスチック資源循環促進法」という。）が施行されました。

福井県（以下「県」という。）では、廃棄物の減量化やリサイクルによる循環型社会をさらに推進していくため、また、「持続可能な開発目標（SDGs※）」を踏まえた行動計画として、令和3年3月に福井県廃棄物処理計画を策定しています。

小浜市、高浜町、おおい町及び若狭町で構成される若狭広域行政事務組合では、令和2年度から令和4年度にかけて広域ごみ焼却施設として若狭広域クリーンセンターを整備し、令和5年4月から可燃ごみと可燃性粗大ごみの処理を開始し、これまで資源ごみとして分別していたプラスチック製容器包装の処理方法を変更しました。

このように、計画策定の前提となっている諸条件が変動していること、前計画の目標年度が令和8年度であることから、これまで進めてきた施策や成果をもとに、前計画を見直すこととしました。

※平成27年9月、国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、「誰一人取り残されない」を誓い、持続可能で多様性のある社会の実現のため掲げられた17の国際目標。



2. 計画の位置づけ

本計画は、国・福井県・嶺南市町の計画や本町の計画と整合を図ります。

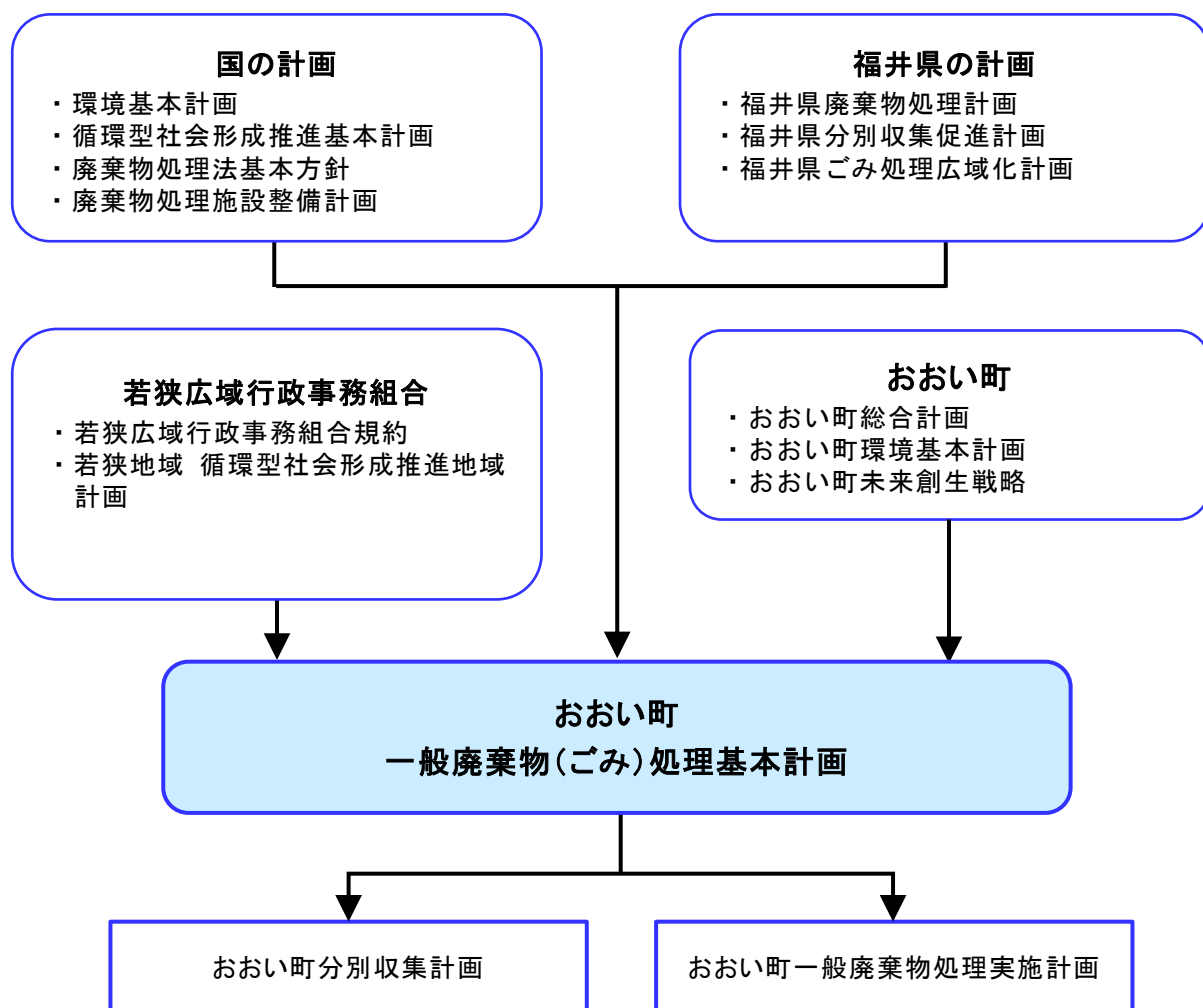


図 1-1 計画の位置づけ

3. 計画の期間

本計画の計画期間は令和 8 年度から令和 17 年度の 10 年間とし、令和 8 年度から 5 年後の令和 12 年度を中間目標年度とします。

概ね 5 年ごとに改定するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行います。

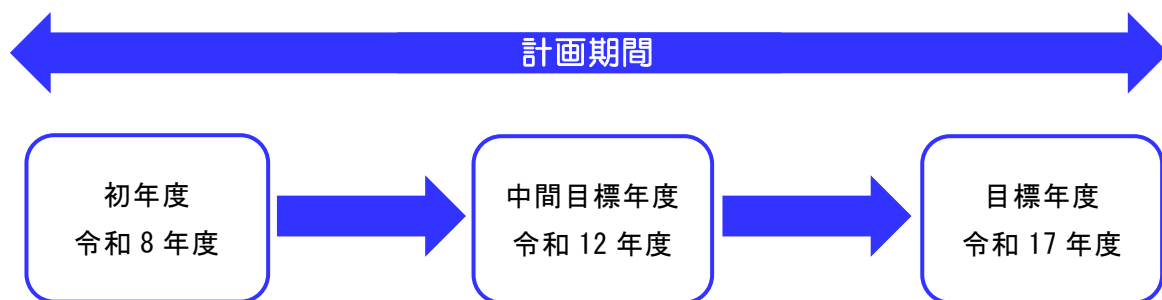


図 1-2 計画の期間

4. 計画の進行管理

本計画におけるPDCAの概念図を図 1-3 に示します。

本計画の進行管理は、Plan（計画の策定）、Do（実行）、Check（評価）、Act（見直し）のPDCAサイクルにより継続的に点検、見直し、評価を行います。計画の評価は、本計画に示した目標と進捗状況を確認して評価します。

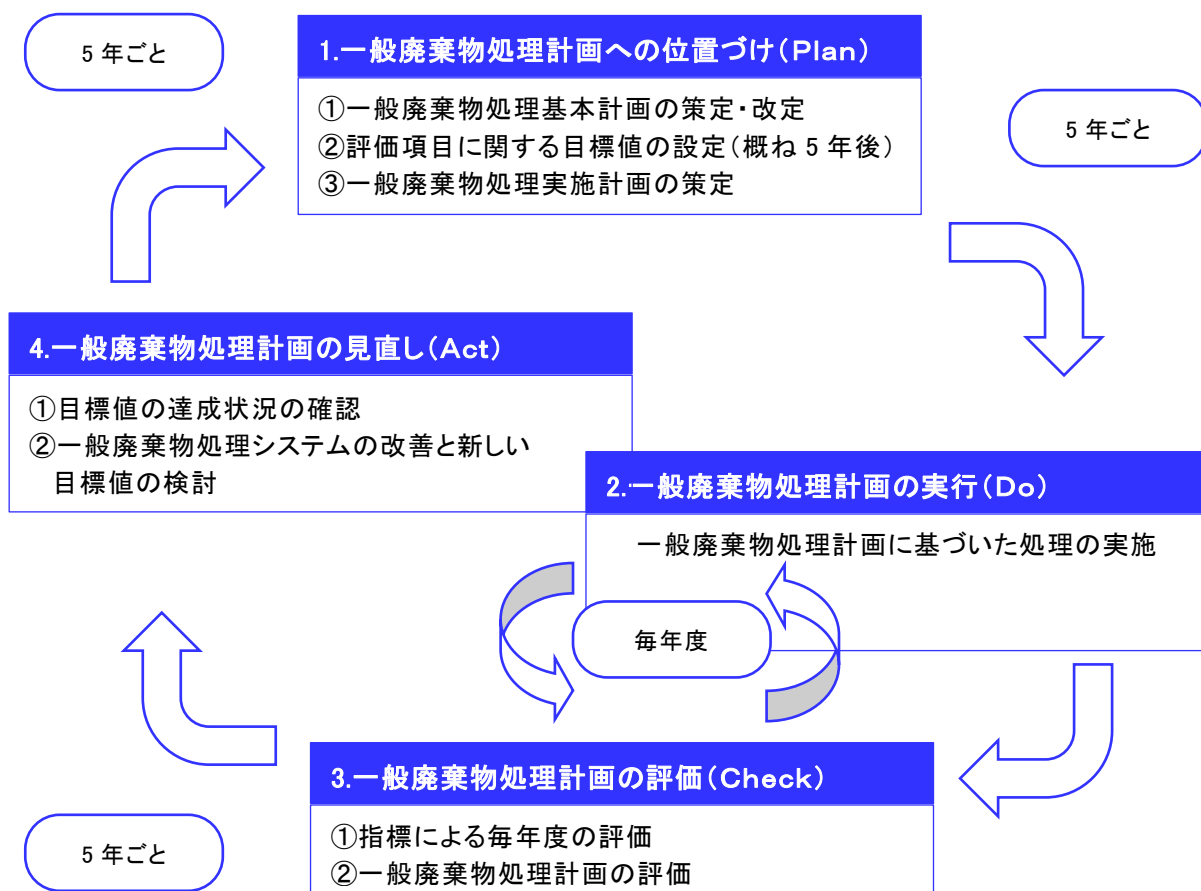


図 1-3 PDCA の概念図

第2章 地域概況

1. 地勢

本町の位置を図 2-1 に示します。

本町は、福井県の南西部に位置し、西は大飯郡高浜町、京都府綾部市、南は南丹市、東は小浜市、滋賀県高島市に接しています。面積は 212 km²で、そのほとんどを中山間地が占め、町域の 90%を占める山林と美しいリアス式の眺望が得られる海を中心に、豊かな自然に囲まれた町です。

水系は、京都府県境を主な水源とする佐分利川水系と南川水系が西から東へ向かって流れ、小浜湾に注いでいます。また、大島が青戸の入り江を挟んで北に位置しており、青戸大橋によって結ばれています。

山地では、西側の京都府との県境に標高 871m 頭巾山、南側には標高 800 メートルの八ヶ峰、東側の京都府・滋賀県との県境には標高 776m の三国岳があり、大島には標高 478m の大山があります。

居住地は、佐分利川沿いから海岸部に向かって開けた平野、南川とその支流沿いの平地、大島の小浜湾岸の平地にあります。

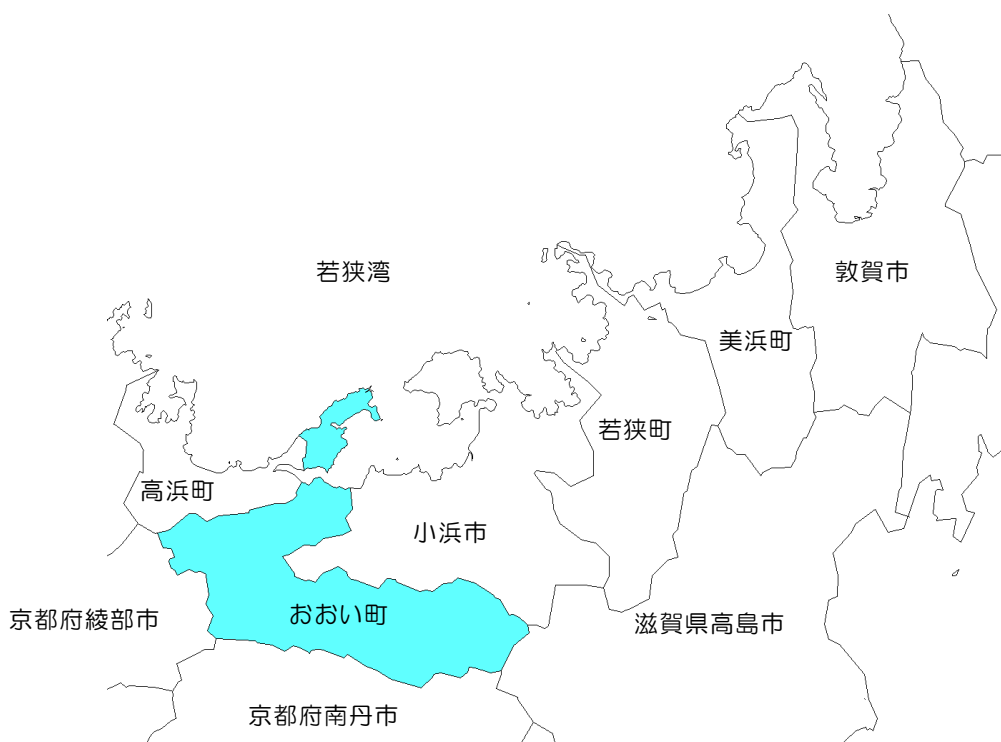


図 2-1 おおい町の位置

2. 気候特性

地域の気候、降水量を表 2-1 及び図 2-2 に示します。

本町の降水量は年間 2,018.7mm です。最高気温は 8 月で 32.1℃、最低気温は 1 月及び 2 月で 0.4℃になります。

表 2-1 地域の気候、降水量

	気温(℃)			降 水 量 (mm)
	平均気温	最高気温	最低気温	
1月	3.8	7.4	0.4	217.6
2月	4.1	8.0	0.4	156.6
3月	7.4	12.1	2.8	135.4
4月	12.6	18.0	7.5	108.4
5月	17.7	23.0	12.8	137.9
6月	21.6	26.3	17.6	137.8
7月	25.7	30.5	22.1	180.7
8月	27.0	32.1	23.0	157.1
9月	22.9	27.6	19.1	234.4
10月	17.2	21.9	12.8	179.9
11月	11.6	16.3	7.1	160.0
12月	6.5	10.5	2.6	222.6
年	14.8	19.5	10.7	2,018.7

出典：福井地方気象台小浜観測所データ（1991 年～2020 年の 30 年間の平年値）

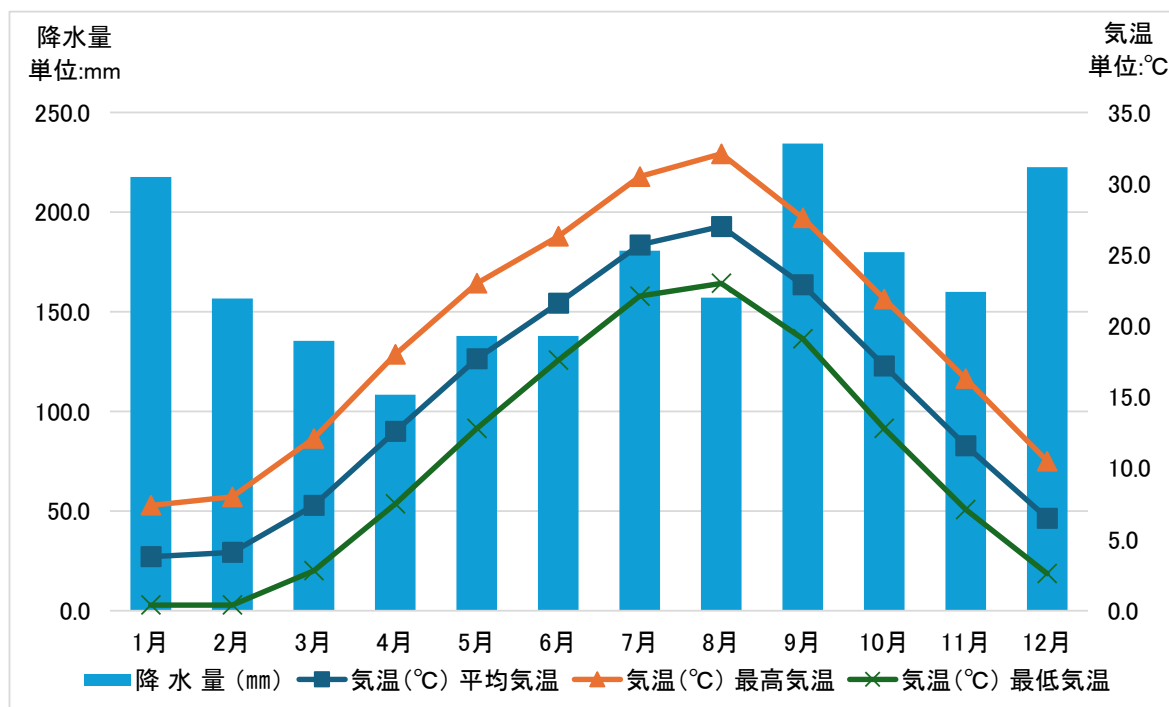


図 2-2 地域の気温、降水量

3. 社会環境の動態

1) 人口動態

本町の人口及び世帯数の推移を表2-2及び図2-3に示します。

世帯数は大きく変化していませんが、人口が減少傾向のため、1世帯当たりの人口も減少しています。

表 2-2 人口・世帯の推移

年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口(人)	8,325	8,196	8,131	8,104	8,067	7,910	7,884	7,698	7,533	7,409
世帯数(世帯)	3,222	3,206	3,194	3,219	3,259	3,165	3,184	3,149	3,150	3,150
1世帯当たりの人口 (人/世帯)	2.58	2.56	2.55	2.52	2.48	2.50	2.48	2.44	2.39	2.35

出典：福井県の人口と世帯（推計）（各年 10 月 1 日現在）

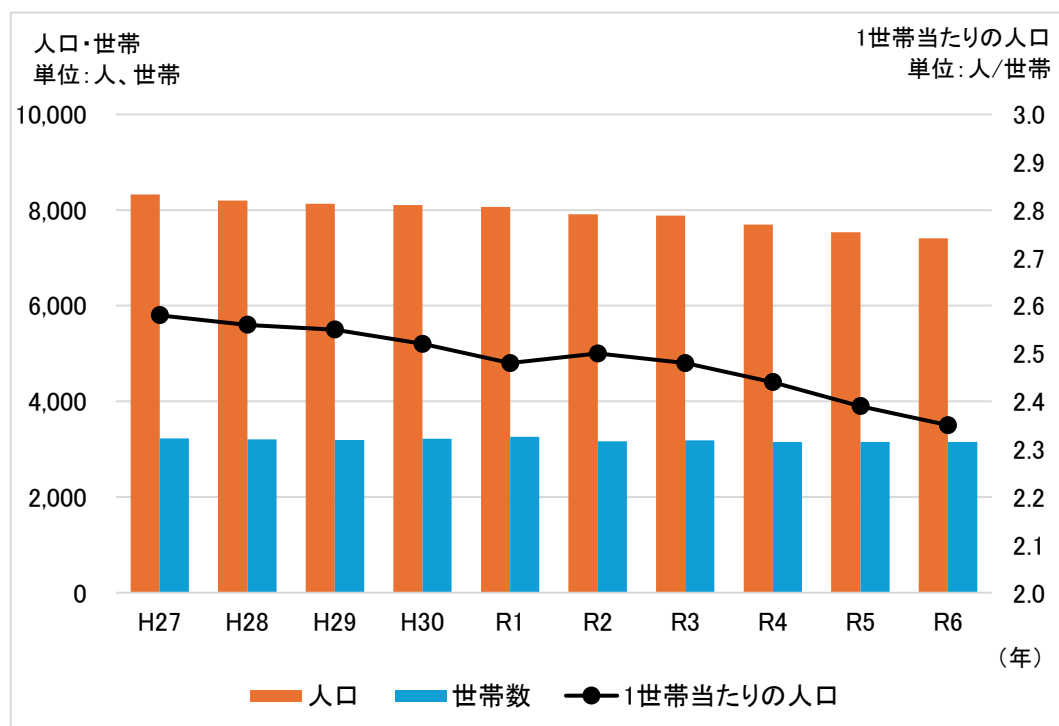


図 2-3 人口の推移

2) 高齢者人口

本町の高齢者人口の推移を表2-3及び図2-4に示します。

高齢者人口の割合は増加傾向で、高齢化が進んでいます。

表 2-3 高齢者人口の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
高齢人口(人)	2,454	2,486	2,525	2,529	2,519	2,574	2,548	2,541	2,541	2,554
年齢不詳(人)	34	34	34	34	34	34	33	33	33	33
高齢者人口の割合(%)	29.6%	30.5%	31.2%	31.3%	31.4%	32.7%	32.5%	33.2%	33.9%	34.6%

出典：福井県高齢者人口・高齢化率の状況(市町別)(各年10月1日現在)

高齢者人口の割合(%)＝高齢人口/(表2-2における人口－年齢不詳人口)

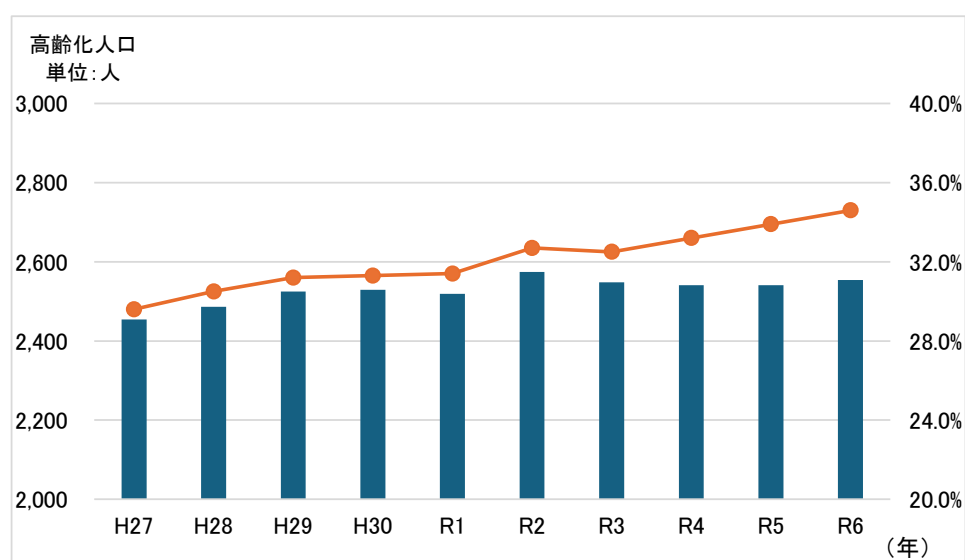


図 2-4 高齢者人口の推移

4. 産業構造

本町の産業構造を表 2-4、表 2-5、図 2-5 に示します。

第三次産業の割合が 6 割以上を占めていますが、業種別では、第二次産業の建設業が一番多くなっています。

表 2-4 産業構造

産業分類	従業者数 (人)	割合
第一次産業	142	3.4%
第二次産業	1,339	32.0%
第三次産業	2,698	64.6%
合計	4,179	100.0%

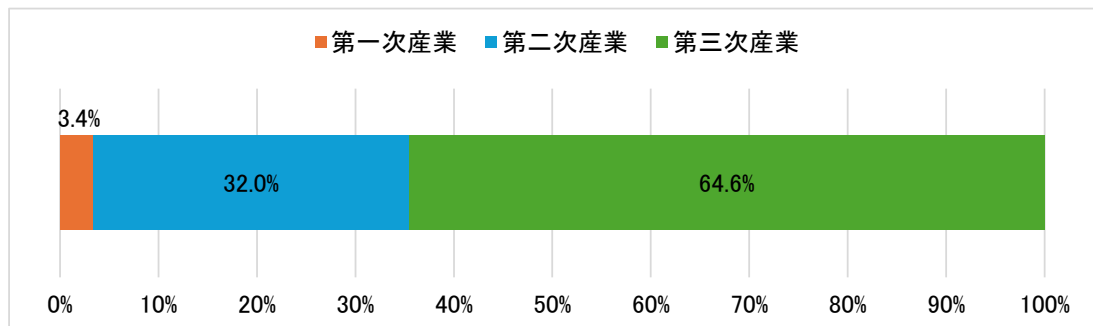


図 2-5 産業構造 (令和 3 年)

表 2-5 業種別事業所数・従業員数の内訳

産業分類	業 種	事業所数 (箇所)	従業者数 (人)
第一次産業	農業, 林業	13	104
	漁業	4	38
第二次産業	鉱業, 採石業, 砂利採取業	–	–
	建設業	96	1065
	製造業	26	274
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	1	464
	情報通信業	–	–
	運輸業, 郵便業	6	108
	卸売業, 小売業	62	342
	金融業, 保険業	2	13
	不動産業, 物品賃貸業	13	45
	学術研究, 専門・技術サービス業	12	206
	宿泊業, 飲食サービス業	76	272
	生活関連サービス業, 娯楽業	46	163
	教育, 学習支援業	11	63
	医療, 福祉	21	276
	複合サービス事業	6	43
	サービス業(他に分類されないもの)	68	703

出典: 令和3年経済センサス-活動調査

5. 主要な交通

本町の中心となる駅は JR 小浜線の若狭本郷駅です。

高速道路は舞鶴若狭自動車道が、一般国道は国道 27 号、国道 162 号が、県道は県道 1 号、16 号、35 号、224 号、241 号、771 号が通っています。



図 2-6 主要な交通網

出典：地理院地図 Vector

6. 土地利用の状況

固定資産概要調書による地目別面積を表 2-6 及び図 2-7 に示します。

山林が一番広く、町全体の約 5 割を占めています。

表 2-6 地目別面積

(単位:ha)

総 数 (道路河川を除く 非課税地を含めた面積)	田	畑	宅地	山 林	原野	雑種地 その他
11,812.2	686.2	138.1	287.7	5,968.2	72.9	4,659.1

資料: 福井県税務課(令和 6 年 1 月 1 日現在)

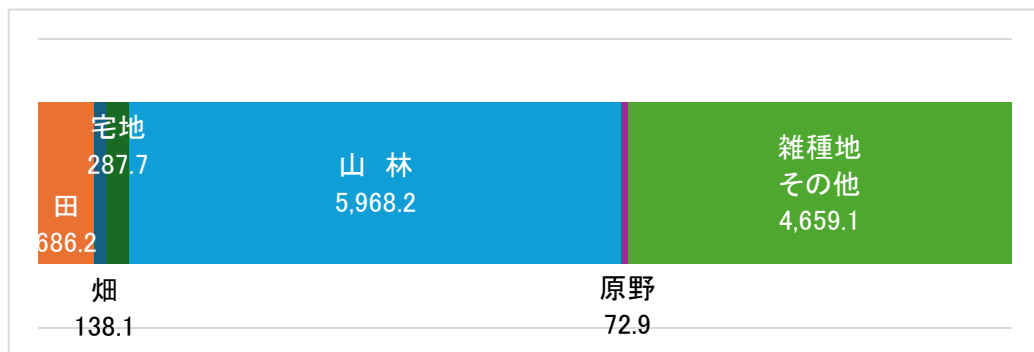


図 2-7 地目別面積

7. 上位計画との関連

本計画と上位計画などとの関係を図 2-8 に示します。

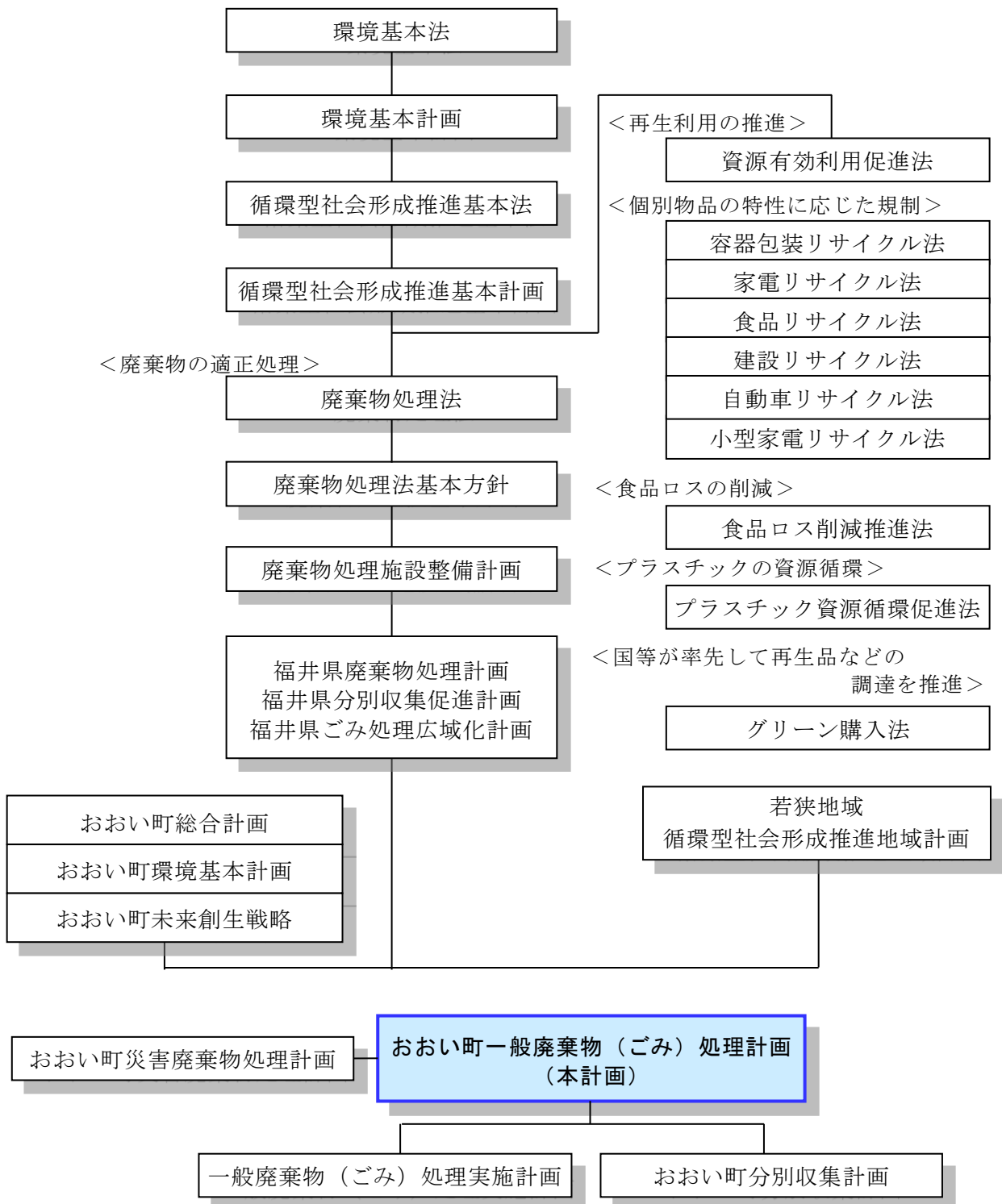


図 2-8 一般廃棄物処理基本計画と上位計画などの関係

第3章 ごみ処理の現状と課題

第1節 ごみ処理に関する基礎的事項

1. 沿革

ごみの分別や減量・資源化施策など、ごみ処理に関する主な施策の実施状況を表 3-1-1 に示します。

表 3-1-1 主な施策の実施状況

年	月	おおい町
H18	3	旧大飯町、旧名田庄村が合併し、おおい町となる。
H18	3	小浜市とおおい町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約締結(委託期限 平成 27 年 3 月 31 日)
H18	3	おおい町と小浜市との廃棄物(不燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約(委託期限 平成 20 年 3 月 31 日) (処理対象物 小浜市クリーンセンターで固化処理された焼却灰)
H19	1	犬見不燃物処理場廃止確認申請を福井県に提出
H19	4	大飯清掃センター大規模修繕工事(平成 19～22 年度)
H19	7	リサイクル社会形成推進事業開始 町民のリサイクル意識を高めるため、資源ごみ用ごみ袋を無料配付。平成18年度までは、原子力広報安全事業として可燃ごみ・不燃物ごみ袋も無料配付していた。
H20	2	えこあいランド(不燃物処理場)竣功期間延長許可申請を福井県に提出 埋立終了期限を平成 20 年 3 月末から平成 35 年 1 月末に 14 年 10 ヶ月延長
H20	4	小浜市リサイクルプラザ(不燃物処理場)供用開始 小浜市とおおい町との廃棄物(不燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約締結(委託期間 小浜市で発生した焼却灰を名田庄環境クリーンセンターで埋立処分した重量に達するときまで)
H22	3	旧名田庄村清掃センター解体、撤去、整地 名田庄環境クリーンセンター埋立処分終了
H22	8	名田庄地域不燃物を小浜市リサイクルプラザで処理することに伴い、「その他紙」「金物」の分別区分を追加 「ゴミの分別区分と出し方・ワンポイント」を作成し全戸配付
H26	4	廃棄物処理広域化準備室の設置
H27	3	名田庄環境クリーンセンター埋立処分終了届を福井県に提出 嶺南5市町一般廃棄物(ごみ)処理広域化基本計画の策定
H27	4	小浜市とおおい町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約委託期間延長 平成 27 年 4 月 1 日から平成 37 年 3 月 31 日に 10 年間延長
H28	3	嶺南 4 市町一般廃棄物(ごみ)処理施設広域化基本構想の策定
H29	3	おおい町一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定
R5	4	若狭広域クリーンセンター稼働開始

2. 処理体制

1) 処理フロー

本町で発生するごみの処理の流れを図3-1-1に示します。

燃やすごみは、若狭広域クリーンセンターで焼却処理をしています。その他不燃物の処理施設は地域で異なり、大飯地域ではえこあいらんどで埋立処分し、名田庄地域では小浜市リサイクルプラザで埋立処分をしています。焼却残渣は、えこあいらんど、小浜市リサイクルプラザでそれぞれ埋立処分しています。ペットボトル、空きびん等の資源ごみは両地域ともにリサイクルセンターで選別後に減容し資源化しています。有害ごみはリサイクルセンターで一時保管後、小浜市の専門業者に処理委託しています。

なお、これまで分別していたプラスチック製容器包装は、若狭広域クリーンセンターの稼働に伴い、令和5年4月からは燃やすごみとして分別しています。

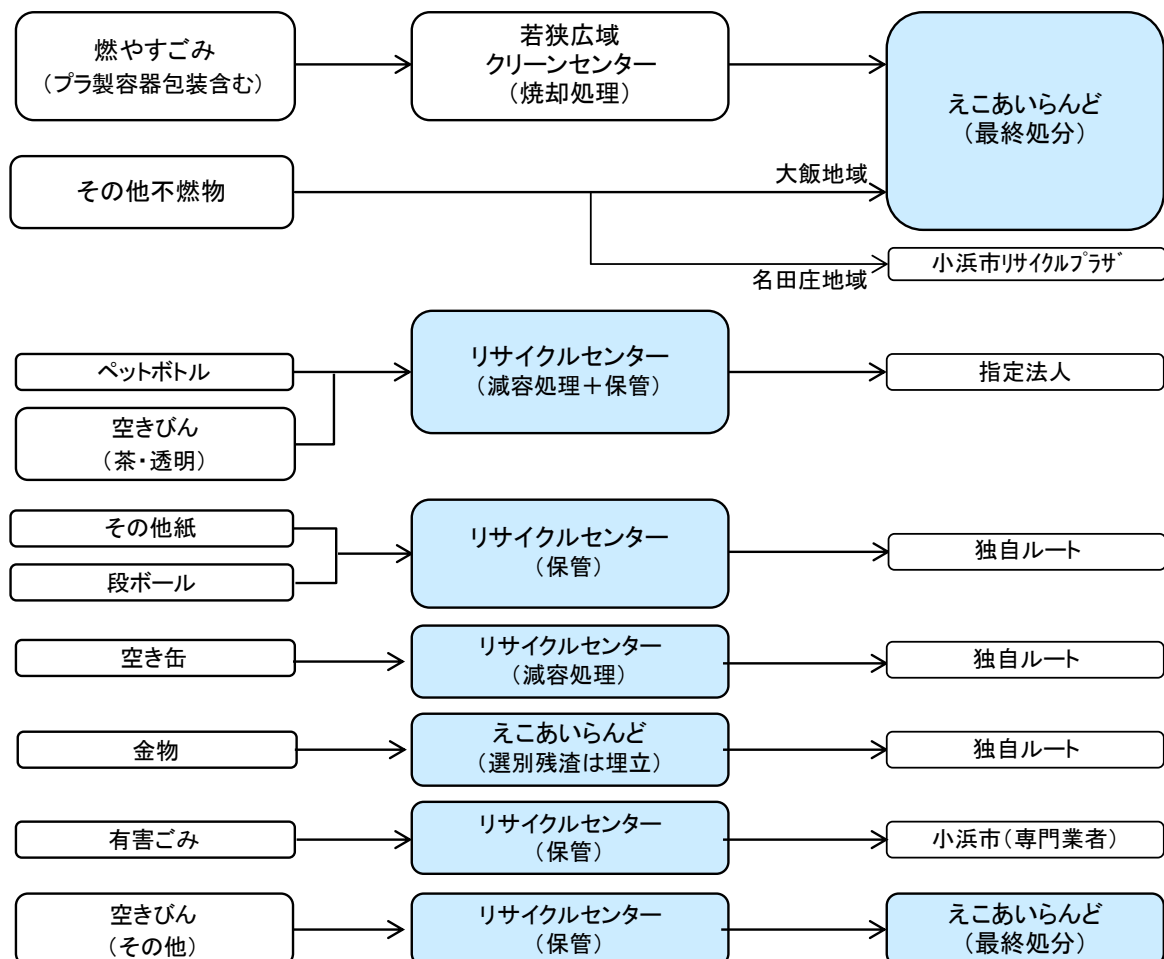


図 3-1-1 ごみ処理フロー

※ は本町が所有する施設

2) 分別区分

家庭系ごみの分別区分と収集方法を表3-1-2に示します。

本町では、事業系ごみの収集運搬は行ってないため、排出者自らが施設へ直接搬入するか、一般廃棄物収集運搬許可業者に収集を依頼するかのいずれかとなっています。

表 3-1-2 分別区分と収集方法

品目		袋の色	収集回数	収集日
燃やすごみ		緑	2 回/週	月曜日・木曜日
その他不燃物		透明	1 回/月	第 4 火曜日
資源ごみ	空き缶	青	2 回/月	第 1・3 水曜日
	茶ビン	茶	1 回/月	第 2 水曜日
	透明ビン	透明		
	その他ビン	グレー		
	ペットボトル	黄	2 回/月	第 2・最終金曜日
	その他紙	紫		第 1・3 金曜日
	段ボール	指定なし		第 1・3 金曜日
	紙パック			第 2・最終金曜日
	金物	ピンク	1 回/月	第 1 火曜日
有害ごみ	乾電池	指定なし	4 回/年 (6 月、9 月、12 月、3 月)	第 3 火曜日
	蛍光灯			

表 3-1-3 持込できるごみと手数料

品目	手数料
家庭系燃やすごみ	10kg ごとに 50 円
事業系燃やすごみ	10kg ごとに 100 円
家具類	家具類 1 個につき 300 円 畳、布団類 1 枚につき 200 円
その他不燃物 (大飯地域のみ)	400kg まで 196 円 400kg 超 98 円/100kg (えこあいランド)

ごみの排出は指定袋制とし、下記のような価格としています。

表 3-1-4 指定袋の価格

大きさ	価格(税抜)
45 リットル	19 円/枚
30 リットル	14 円/枚

3) 収集運搬

収集運搬車両の台数を表3-1-5に示します。

大飯地域は、一般廃棄物収集運搬許可業者に委託して行っており、名田庄地域は、直営で収集運搬を行っています。

また、事業系一般廃棄物の収集運搬は、許可業者が行っています。

表 3-1-5 収集運搬車両の台数

車種	大飯地域	名田庄地域	合計
パッカー	2 台	2 台	4 台
ダンプ	2 台	1 台	3 台
合計	4 台	3 台	7 台

4) 中間処理

中間処理施設の概要を表3-1-6に示します。

燃やすごみは、若狭広域クリーンセンターで焼却処理しています。

名田庄地域のその他不燃物は、小浜市リサイクルプラザで破碎・選別処理しています。

資源ごみは、大飯地域、名田庄地域ともに、リサイクルセンターで処理を行っています。

表 3-1-6 中間処理施設の概要

名 称	若狭広域行政事務組合 若狭広域クリーンセンター	おおい町 エコターミナル	小浜市 リサイクルプラザ
所在地	福井県大飯郡高浜町 水明1番地	おおい町本郷第46号13 番地	小浜市深谷25号 20番1
処理能力	焼却施設 70t/24h(35t/d×2炉)	リサイクルセンター 0.9t/日	リサイクルセンター 24t/日
処理方式	ストーカ式焼却炉	選別、圧縮・梱包	破碎、選別
稼動開始	令和5年4月	平成16年4月	平成22年4月
維持管理体制	委託	委託	一部委託

5) 最終処分

最終処分場の概要を表3-1-7に示します。

大飯地域で排出されたその他不燃物は、えこあいらんどで埋立処分しています。また、名田庄地域で排出されたその他不燃物の破碎残渣は、小浜市リサイクルプラザで埋立処分しています。

表 3-1-7 最終処分場の概要

	大飯地域	名田庄地域
施 設 名	えこあいらんど	小浜市リサイクルプラザ
計画容量	56,240m ³	37,000m ³
稼働開始	平成10年4月	平成20年4月
埋立満了期	令和10年8月	埋立終了まで
埋立対象	焼却残渣(主灰、飛灰) 不燃物 金物など処理残渣	焼却残渣(主灰、飛灰) 不燃物の破碎残渣
維持管理体制	委託	一部委託

3. ごみ排出量の実績

1) ごみ排出量

ごみ排出量の実績を表3-1-8に示します。

家庭系の燃やすごみが令和5年度から大きく増加し、事業系の燃やすごみが大きく減少しました。これは、大飯地域において、令和5年度以前は家庭系ごみの直接搬入に係る処理手数料が無料であったことに加え、可燃ごみの直接搬入分をすべて事業系ごみとして計上していたためです。

表 3-1-8 ごみ排出量の実績

項目	実績				
	R2	R3	R4	R5	R6
人口(3月31日) (人)	8,174	8,146	7,960	7,793	7,668
総排出量 (t/年)	3,492	3,294	3,456	2,856	2,864
家庭系ごみ (t/年)	2,106	1,980	1,971	2,228	2,131
事業系ごみ (t/年)	1,386	1,314	1,485	628	733
家庭系ごみ (t/年)	2,106	1,980	1,971	2,228	2,131
燃やすごみ (t/年)	1,201	1,194	1,202	1,745	1,680
埋立ごみ (t/年)	430	326	323	133	114
資源ごみ (t/年)	382	371	361	271	262
その他のごみ (t/年)	2	2	2	1	3
集団回収 (t/年)	91	87	83	78	72
事業系ごみ (t/年)	1,386	1,314	1,485	628	733
燃やすごみ (t/年)	1,376	1,304	1,475	618	723
資源ごみ (t/年)	10	10	10	10	10
1人1日当たりごみ排出量 (g/人日)	1,170.4	1,107.9	1,189.5	1,001.3	1,023.3
家庭系ごみ (g/人日)	705.9	665.9	678.4	781.1	761.4
燃やすごみ (g/人日)	402.5	401.6	413.7	611.8	600.3
埋立ごみ (g/人日)	144.1	109.6	111.2	46.6	40.7
資源ごみ (g/人日)	128.0	124.8	124.3	95.0	93.6
その他ごみ (g/人日)	0.7	0.7	0.7	0.4	1.1
集団回収 (g/人日)	30.5	29.3	28.6	27.3	25.7
家庭系ごみ(資源除く) (g/人日)	547.3	511.9	525.6	658.8	642.1
事業系ごみ (g/人日)	464.6	441.9	511.1	220.2	261.9
燃やすごみ (g/人日)	461.2	438.6	507.7	216.7	258.3
資源ごみ (g/人日)	3.4	3.4	3.4	3.5	3.6

2) ごみ組成分析

ごみ組成分析の結果を表3-1-9及び図3-1-2を示します

三成分のうち、水分は41.7%から48.8%、可燃分は46.9%から53.9%で推移しています。

表 3-1-9 三成分やごみ組成分析結果

		R2	R3	R4	R5	R6	年平均
単位体積重量		kg/m ³	124	125	103	163	156
三成分	水分	%	42.2	47.3	41.7	48.8	46.5
	灰分	%	5.4	4.7	4.4	4.3	4.0
	可燃分	%	52.4	48.0	53.9	46.9	49.5
種類・組成	紙・布類	%	50.9	54.2	47.0	47.5	48.4
	ビニール・合成樹脂・ゴム類・皮革類	%	23.0	23.5	27.8	28.1	25.8
	木・竹・ワラ類	%	9.9	5.7	15.3	11.0	11.0
	厨芥類	%	7.9	10.7	5.7	7.7	6.7
	不燃物類	%	1.2	1.9	1.0	2.3	1.2
	その他	%	7.1	4.0	3.2	3.4	4.5
	計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
低位発熱量		kJ/kg	8,825	7,850	9,117	7,683	8,343

資料：一般廃棄物処理実態調査結果、若狭広域行政事務組合

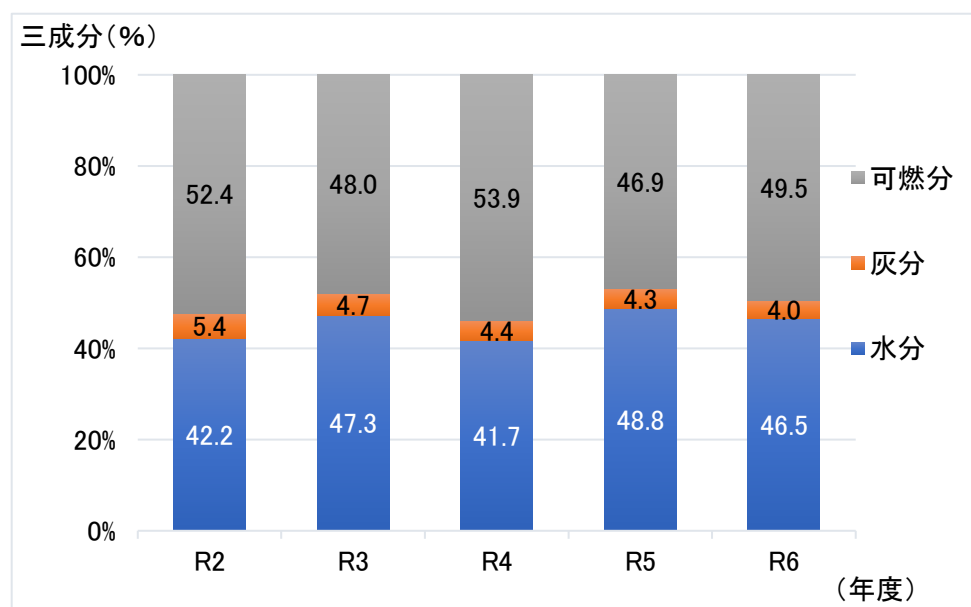


図 3-1-2 三成分の推移

4. ごみの減量化・再生利用の実績

資源化量及び資源化率の推移を表 3-1-10 及び図 3-1-3 に示します。

資源化量、資源化率ともに減少傾向となっています。特に容器包装プラスチックの分別区分を燃やすごみの区分に変更した令和 5 年度以降の減少量は顕著で、資源化率は令和 6 年度に 12.0%まで下がりました。福井県の平均値と比較すると令和 4 年度まで福井県の平均値を上回っていましたが、令和 5 年度は逆転して県の平均値を下回りました。

表 3-1-10 資源化量及び資源化率の推移

		実績				
		R2	R3	R4	R5	R6
資源化量	(t/年)	483	468	454	359	344
紙類(容器包装等含む)	(t/年)	237	227	228	196	194
金属類	(t/年)	120	108	113	86	81
ガラス類	(t/年)	47	51	30	41	38
ペットボトル	(t/年)	24	30	31	30	26
容器包装プラ	(t/年)	48	45	46	0	0
その他プラ	(t/年)	7	7	0	0	0
布類	(t/年)	0	0	6	6	5
資源化率	(%)	13.8	14.2	13.1	12.6	12.0

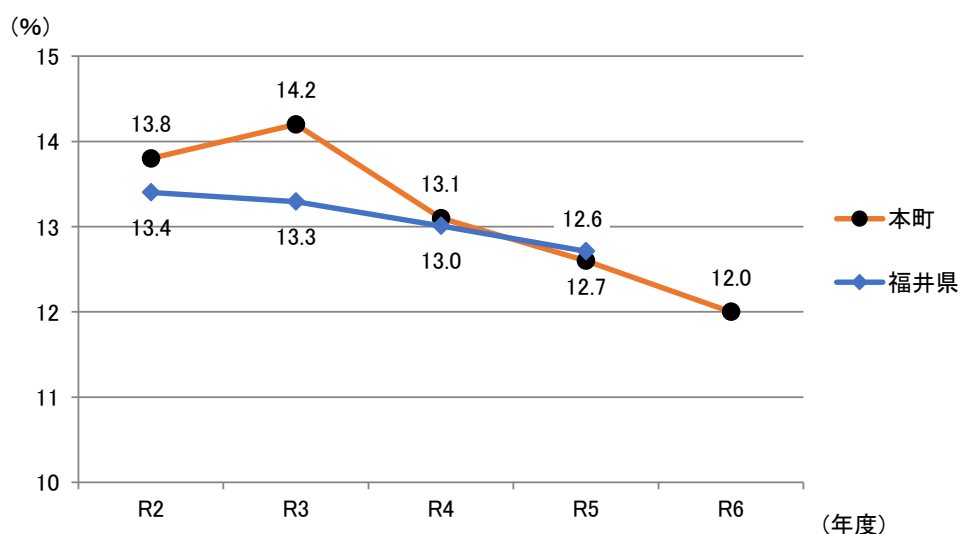


図 3-1-3 資源化率の推移

5. ごみ処理の実績

ごみ処理処分量の内訳を表 3-1-11 に、焼却量の推移を図 3-1-4 に、最終処分量及び最終処分率の推移を図 3-1-5 に示します。

焼却処理量は、令和 5 年度以降家庭系燃やすごみの量が増加し、事業系燃やすごみが減少しました。焼却処理量全体としては横ばい傾向です。また、最終処分量及び最終処分率は、令和 5 年度から硬質プラスチック、ゴム製品、革製品が不燃ごみから燃やすごみに分別が変わったことに伴い減少しました。

表 3-1-11 ごみ処理処分量の内訳

	実績				
	R2	R3	R4	R5	R6
収集運搬量	1,655	1,629	1,617	1,885	1,792
焼却処理量 (t/年)	2,577	2,498	2,677	2,363	2,403
家庭系燃やすごみ (t/年)	1,201	1,194	1,202	1,745	1,680
事業系燃やすごみ (t/年)	1,376	1,304	1,475	618	723
1人1日当たりごみ焼却量 (g/人日)	863.7	840.1	921.4	828.5	858.6
資源化施設 (t/年)	394	383	373	282	275
埋立ごみ(直接埋立除く) (t/年)	0	0	0	0	0
資源ごみ(直接資源化除く) (t/年)	392	381	371	281	272
粗大ごみ (t/年)	2	2	2	1	3
最終処分量 (t/年)	761	653	631	359	334
直接埋立 (t/年)	430	326	323	133	114
焼却残渣 (t/年)	331	327	306	225	220
不燃残渣 (t/年)	0	0	2	1	0
資源化施設 (t/年)	0	0	2	1	0
1人1日当たりの最終処分量 (g/人日)	255.1	219.6	217.2	125.9	119.3
最終処分率 (%)	21.8	19.8	18.3	12.6	11.7

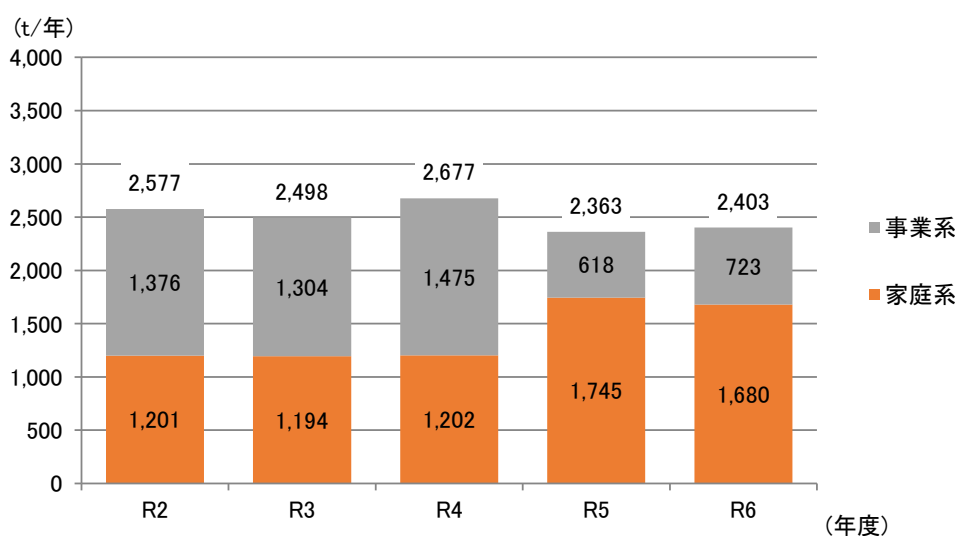


図 3-1-4 焼却量の推移

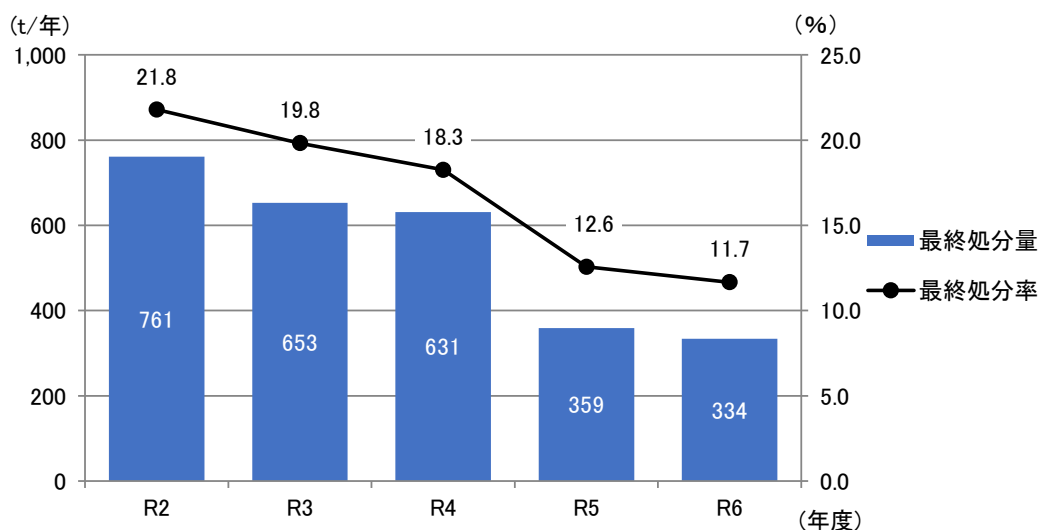


図 3-1-5 最終処分量及び最終処分率の推移

6. 処理経費

ごみ処理経費の実績を表 3-1-12 及び図 3-1-6 に示します。

令和 5 年度は若狭広域クリーンセンターで燃やすごみを処理することにより、処理費及び維持管理費が減少しました。

表 3-1-12 ごみ処理経費の実績

	R2	R3	R4	R5	R6
建設改良費 (千円)	42,438	33,427	11,635	0	413
処理費及び維持管理費 (千円)	178,797	168,423	158,506	132,566	172,843
その他 (千円)	7,120	6,273	4,493	18,140	14,033
組合分担金 (千円)	0	0	0	77,297	96,758
分担金含む合計 (千円)	228,355	208,123	174,634	228,003	284,047
1人当たり処理経費 (円)	27,937	25,549	21,939	29,257	37,043
1t当たり処理経費 (円)	67,143	64,896	51,774	82,075	101,736

資料：一般廃棄物処理実態調査結果

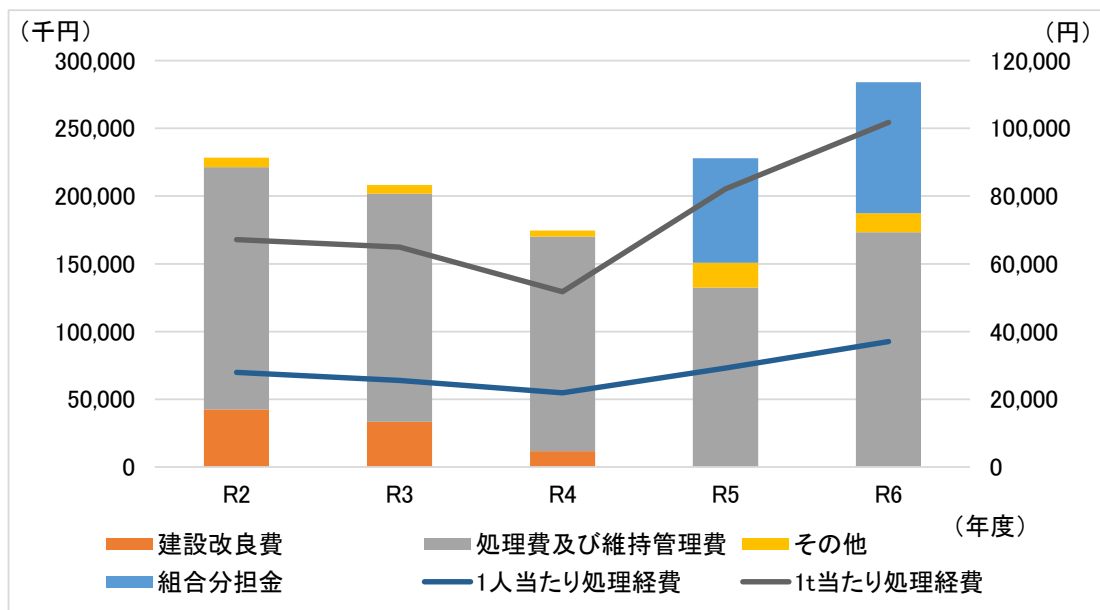


図 3-1-6 処理経費の実績

第2節 ごみ処理の評価及び課題

1. ごみ処理の評価

市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール（環境省）を利用し、人口規模や産業構造が類似している都市 126 団体（人口 5,000 人以上 10,000 人未満、第二次産業・第三次産業人口比 80%以上、第三次産業人口比 55%以上）と比較した結果を示します。

本町は、類似団体と比較すると、「一人一日当たりごみ総排出量」「廃棄物のうち最終処分される割合」は類似団体より多く、「廃棄物からの資源回収率（RDF・セメント原料化等除く）」が少ない状況です。「人口一人当たり年間処理経費」「最終処分減量に要する費用」は類似団体より多い状況です。

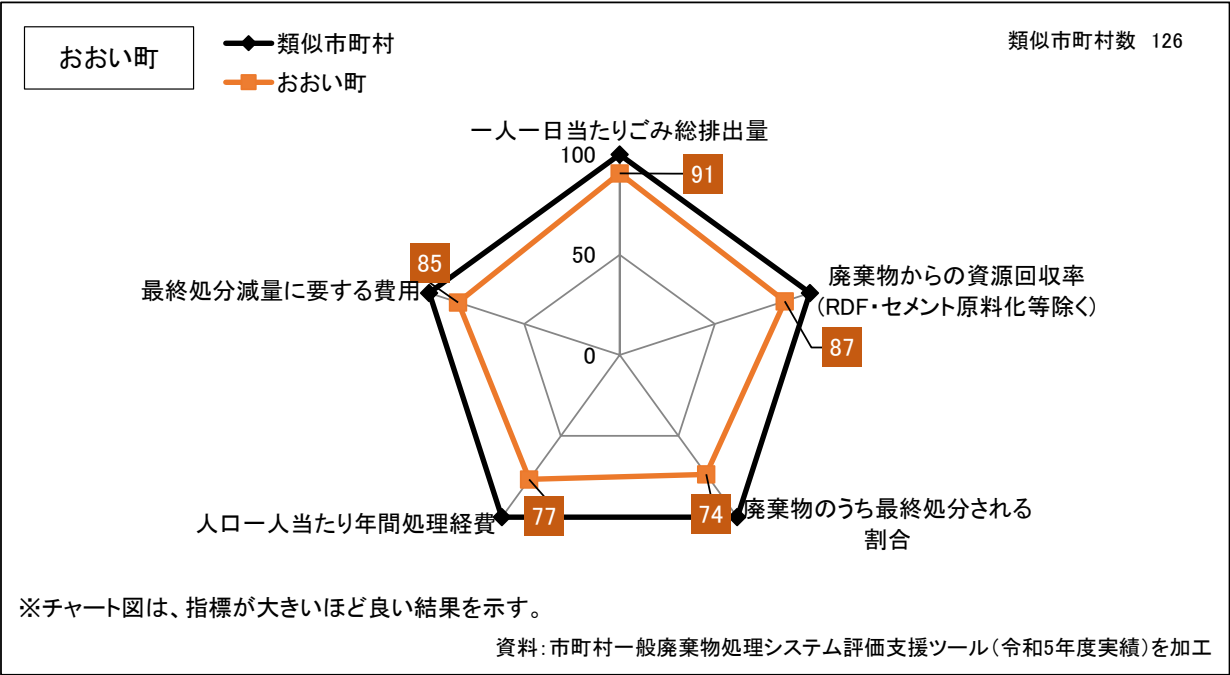


図 3-2-1 類似団体との比較結果

表 3-2-1 類似団体との比較結果

	おおい町	類似市町村 平均値
1人1日当たりの排出量(g/人日)	1,001	907
廃棄物からの資源回収率 (RDF・セメント原料化等除く)	12.6%	14.5%
廃棄物のうち最終処分される割合	12.6%	9.3%
人口1人当たり年間処理経費(円)	26,779	20,556
最終処分減量に要する費用(円)	77,508	65,682

※人口 1 人当たり年間処理経費は、車輛等購入費、施設改良費及びその他を除いているため、表 3-1-12 とは一致しない。

2. ごみ処理の課題

1) 発生抑制に関する課題

本町のごみ排出量について、令和2年度と令和6年度を比較すると、全体として減少傾向にあります。事業系ごみは、家庭系ごみの直接搬入の集計方法を見直したことから、大幅に減少しており、令和6年度の排出量はピーク時である令和4年度の50%未満となりました。一方、家庭系ごみについては、令和2年度から令和4年度にかけて減少したものの、令和6年度には令和2年度と同程度の水準に戻っています。

1人1日当たりのごみ排出量については、事業系ごみの減少に伴い、令和5年度には1,001gとなり、令和2年度比で14.4%減少しました。しかし、令和6年度は増加に転じており、引き続き排出抑制に向けた取組の強化が求められます。

今後は、排出抑制やごみ分別の徹底、環境教育を通じた啓発活動を一層推進する必要があります。

なお、排出抑制においては、燃やすごみのごみ質分析結果に基づき、品目ごとの削減可能性を検討することが重要です。三成分分析によると、令和6年度の燃やすごみは水分含有率が46.5%であり、水切りの徹底による排出量削減が期待されます。種類組成（乾燥重量比）では、紙・布類が48.4%を占めていることから、資源物の分別徹底が求められます。また、食品ロス削減も有効な手段であり、これらを総合的に実施することで燃やすごみの減量が見込まれます。

事業系ごみにおいても、家庭系ごみと同様に水切りや食品ロス削減の取組を推進し、一層の減量化を図ることが求められます。

さらに、これらの施策を効果的に推進するため、町民への周知と理解促進が必要です。

2) 資源化に関する課題

本町では分別収集に取り組んでいるものの、その他の紙類が依然として燃やすごみに含まれており、分別の徹底が課題となっています。

また、大飯地域においては、その他不燃物をえこあいらんどに埋立処分しています。資源化率の向上を図るため、その他不燃物から資源物を回収する仕組みを検討する必要があります。

3) 収集運搬に関する課題

ごみ排出量の減少に伴い、収集運搬量の縮小が見込まれています。このため、収集量に応じた効率的な収集運搬体制の構築が求められます。具体的には、収集運搬経路や収集頻度、ステーション配置の最適化など、地域の実情を踏まえた見直しを行う必要があります。また、これらの取り組みを通じて、環境負荷の低減にもつなげていくことが重要です。

一方で、排出量の減少は必ずしも経費削減に直結するものではなく、収集運搬量が縮小する中でも、住民一人ひとりに対するきめ細かな対応が求められる場面は増加すると

想定されます。特に、高齢化の進展や世帯構成の変化により、従来の集積所方式では対応が困難なケースが増え、収集作業の手間や運営コストが相対的に増大する可能性があります。このため、効率化とサービス水準の維持・向上を両立させることが必要となります。

本町では高齢化が進んでおり、超高齢社会への対応も不可欠です。特に、自力でゴミを排出することが困難な高齢者等を対象に、戸別収集などの支援制度について検討することが求められます。

4) 収集不適廃棄物に関する課題

本町では分別収集に取り組んでいるものの、燃やすごみの中には不適物が依然として混入しており、分別の徹底が課題となっています。不適物の混入は、収集及び処理工程において支障を来すだけでなく、作業の安全性を損なう恐れもあります。

特に、リチウムイオン電池などは、強い衝撃を受けることで発火する危険性があり、誤った分別のまま排出された場合、ごみ収集車での圧縮作業や処理施設での破砕時に火災が発生する事例も確認されています。このため、適切な分別方法の周知徹底が強く求められます。

また、家電リサイクル法により処理方法が定められている特定家電品をはじめ、パソコンやバッテリー類など、本町では処理できない品目についても、正しい排出方法を広く周知する必要があります。

5) 中間処理に関する課題

燃やすごみの処理を行っている若狭広域クリーンセンターは、令和5年度に稼働しました。今後は、機能維持のため、適正な維持管理、効率的な処理体制の確保が求められます。

その他不燃物の処理については、大飯地域では最終処分場へ直接埋め立てていることから、埋立量の削減のため、破砕処理し資源物を回収する仕組みを検討する必要があります。

6) 最終処分に関する課題

その他不燃物の処理については、大飯地域では「えこあいランド」で埋立処分を行っており、名田庄地域で排出されたその他不燃物の破砕残渣については、小浜市リサイクルプラザにおいて埋立処分を実施しています。

最終処分場の埋立容量には限りがあることから、資源物の回収を強化し、最終処分量を可能な限り削減し、延命化を図ることが必要です。

第4章 ごみ処理基本計画

第1節 基本方針

循環型社会の実現のためには、ごみの発生を抑え、資源化を継続していく必要があります。市民のライフスタイルの変化に伴うごみの多様化を踏まえ、市民・事業者・行政が協働して、ごみの発生から処分までの各段階における取り組みを徹底するとともに、新たな施策にも取り組む必要があります。

本計画の基本方針は、ごみのリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）を優先した上で、リサイクル（資源化）を推進し、それでもなお発生するごみは適正に処理することとします。

基本方針Ⅰ：2R（リデュース、リユース）を優先とした ごみを出さないライフスタイルの確立

ごみ排出量は令和4年度まで減少していましたが、令和5年度以降再び増加に転じています。

この増加傾向を抑えるためには、住民・事業者一人ひとりが環境意識を持ち、第一に、ごみにしない、ごみを出さない『リデュース（ごみの発生抑制）』、使用済みとなったものをできる限り繰り返し使う『リユース（再使用）』を重点的に推進し、ごみを出さないライフスタイルの確立を目指します。

- 生ごみの水切りに取り組み、燃やすごみの削減に取り組みます。
- 食べ残し削減のため、「おいしいふくい食べきり運動」を推進します。
- 家庭で使用しなくなった品物は、リサイクルショップやフリーマーケットなどのリユースの場で再利用に努めます。
- ごみを出さないライフスタイルについて広く知識を共有するため環境啓発を推進します。
- ごみを出さないライフスタイルを推進するため、指定袋の価格や持込ごみ手数料の見直しを検討します。

基本方針Ⅱ：2Rを優先した上で3つめのR（リサイクル）を強化する

家庭系資源ごみは減少傾向を示しています。

今後は資源ごみの回収を強化し、資源ごみの回収量を向上させます。

- リサイクル推進のため、資源ごみ用ごみ袋を配付します。
- 収集条件の厳格化を行い、分別意識の再徹底を行います。
- 町内に資源ごみ回収ボックスを設置し、資源ごみを持ち込みやすい環境を構築します。
- 雑がみ（新聞、雑誌、段ボール、紙パックを除く空き箱、包装紙、封筒など、資源化できる紙資源）の分別回収運動を推進します。

基本方針Ⅲ：安全安心で環境にやさしいごみ処理の推進

ごみの収集運搬、中間処理、最終処分にあたっては、発生する環境負荷をできる限り軽減するとともに、ごみ処理に関する行政サービスの充実や環境美化を推進し、町民が参加しやすく、取り組みやすい仕組みを構築します。

- 町民が参加しやすく、取り組みやすい仕組みを構築します。
- 環境負荷の少ないごみ処理を実施します。
- 循環利用可能な処理体制を構築します。
- 広域処理体制の構築を推進します。

第 2 節 ごみ排出量及び処理量の予測

1. 将来人口

将来人口は、「おい町人口ビジョン（令和 6 年度版）」の「仮定を加えた推計」の推計値を使用します。

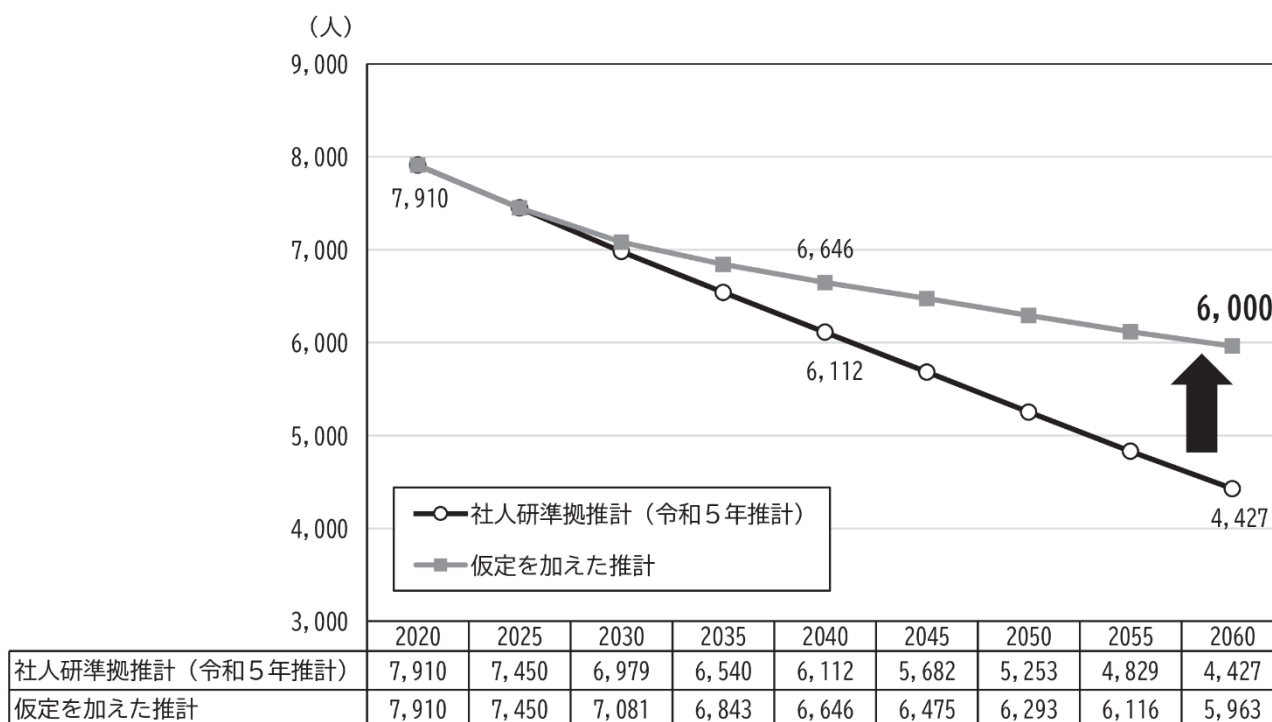


図 4-2-1 将来人口

2. ごみ排出量の推計結果

本計画では現状の施策が継続した場合をケースⅠとし、ごみ排出量とごみ処理量の見込みを表 4-2-1、表 4-2-2、図 4-2-2 に示します。

1 人 1 日当たりごみ排出量は横ばいの見込みですが、人口の減少に伴い、総排出量は緩やかに減少する見込みです。

表 4-2-1 ごみ排出量の見込み（ケースⅠ）

項目	実績		見込み	
	R2	R6	R12	R17
人口(3月31日) (人)	8,174	7,668	7,081	6,843
総排出量 (t/年)	3,492	2,864	2,825	2,742
家庭系ごみ (t/年)	2,106	2,131	2,147	2,085
事業系ごみ (t/年)	1,386	733	678	657
家庭系ごみ (t/年)	2,106	2,131	2,147	2,085
燃やすごみ (t/年)	1,201	1,680	1,732	1,686
埋立ごみ (t/年)	430	114	105	102
資源ごみ (t/年)	382	262	242	234
その他のごみ (t/年)	2	3	3	3
集団回収 (t/年)	91	72	65	60
事業系ごみ (t/年)	1,386	733	678	657
燃やすごみ (t/年)	1,376	723	668	647
資源ごみ (t/年)	10	10	10	10
1人1日当たりごみ排出量 (g/人日)	1,170.4	1,023.3	1,093.0	1,094.8
家庭系ごみ (g/人日)	705.9	761.4	830.7	832.5
燃やすごみ (g/人日)	402.5	600.3	670.0	673.0
埋立ごみ (g/人日)	144.1	40.7	40.7	40.7
資源ごみ (g/人日)	128.0	93.6	93.6	93.6
その他ごみ (g/人日)	0.7	1.1	1.1	1.1
集団回収 (g/人日)	30.5	25.7	25.0	24.0
家庭系ごみ(資源除く) (g/人日)	547.3	642.1	711.9	715.1
事業系ごみ (g/人日)	464.6	261.9	262.3	262.3
燃やすごみ (g/人日)	461.2	258.3	258.3	258.3
資源ごみ (g/人日)	3.4	3.6	4.0	4.0
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く) (g/人日)	1,139.9	997.6	1,068.0	1,070.8

表 4-2-2 ごみ処理量の見込み（ケースⅠ）

項目		実績		見込み	
		R2	R6	R12	R17
焼却処理量	(t/年)	2,577	2,403	2,400	2,333
直接焼却量	(t/年)	2,577	2,403	2,400	2,333
資源化施設からの残渣	(t/年)	0	0	0	0
資源化施設	(t/年)	394	275	255	247
埋立ごみ(直接埋立除く)	(t/年)	0	0	0	0
資源ごみ(直接資源化除く)	(t/年)	392	272	252	244
粗大ごみ	(t/年)	2	3	3	3
資源化量	(t/年)	483	344	317	304
紙類	(t/年)	84	67	62	59
紙製容器包装	(t/年)	153	126	116	111
紙パック	(t/年)	0	1	1	1
金属類	(t/年)	120	81	74	71
ガラス類	(t/年)	47	38	35	33
ペットボトル	(t/年)	24	26	24	23
容器包装プラ	(t/年)	48	0	0	0
その他プラ	(t/年)	7	0	0	0
布類	(t/年)	0	5	5	5
資源化率	(%)	13.8	12.0	11.2	11.1
最終処分量	(t/年)	761	334	375	363
直接埋立	(t/年)	430	114	105	102
焼却残渣	(t/年)	331	220	269	261
不燃残渣	(t/年)	0	0	1	0
資源化施設	(t/年)	0	0	1	0
最終処分率	(%)	21.8	11.7	13.3	13.2

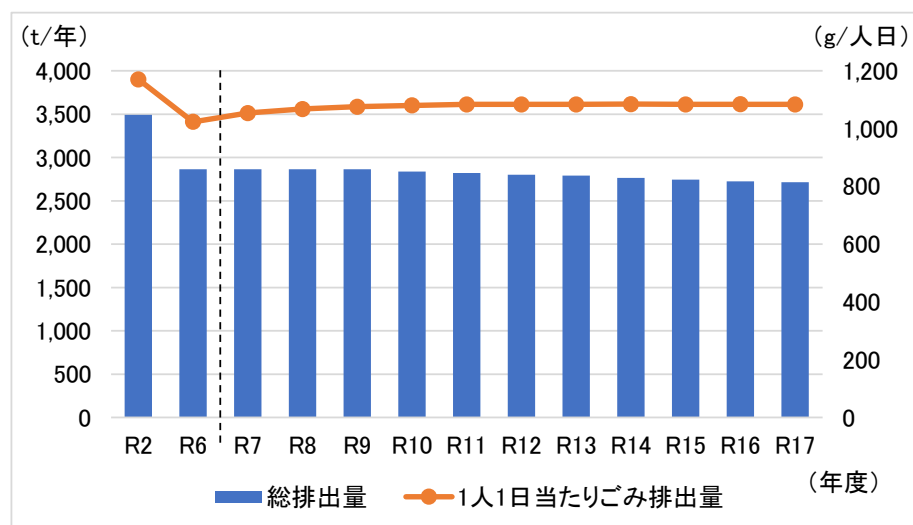


図 4-2-2 ごみ排出量の見込み（ケースⅠ）

3. 国及び県の目標との比較

国及び県の目標との比較を表 4-2-3 に示します。

ごみ総排出量の予測値は、県の計画や国の計画に当てはめた場合いずれも目標値を達成する見込みです。1 人 1 日当たりごみ総排出量は、令和 6 年度においては本町の現行計画や県の計画に当てはめた場合の目標値を達成していますが、今後は未達成となる見込みです。

資源化率は本町の目標値、県や国の計画に当てはめた場合の目標値を達成していません。最終処分量は本町の目標値、県や国の計画に当てはめた場合の目標値を達成しています。

以上の結果から、1 人 1 日当たりごみ総排出量の減量化及び資源化率の向上を図る必要があります。

表 4-2-3 ケース I と国及び県の目標との比較

		実績	予測		本町 現行計画	県に当ては めた場合	国に当ては めた場合	備考
		R6	R12	R17	R7	R7	R12	
ごみ総排出量	(t/年)	2,864	2,825	2,742	－	－	3,145	達成
ごみ総排出量(集団回収除く)	(t/年)	2,792	2,760	2,682	－	2,854	－	達成
1人1日当たりごみ排出量 (集団回収除く)	(g/人日)	998	1,068	1,071	1,059	1,050	－	未達成
資源化率	(%)	12.0	11.2	11.1	20	21	26	未達成
最終処分量	(t/年)	334	375	363	603	464	599	達成

第3節 ごみ減量化計画

1. 目標設定の手順

現状の傾向で推移した場合（前出のケースⅠ）では、国・県の目標と同等の目標達成が難しいことから、図 4-3-1 に示す手順で本計画の新たな目標値を設定し、将来のごみ排出量、資源化率、最終処分量を算出します。

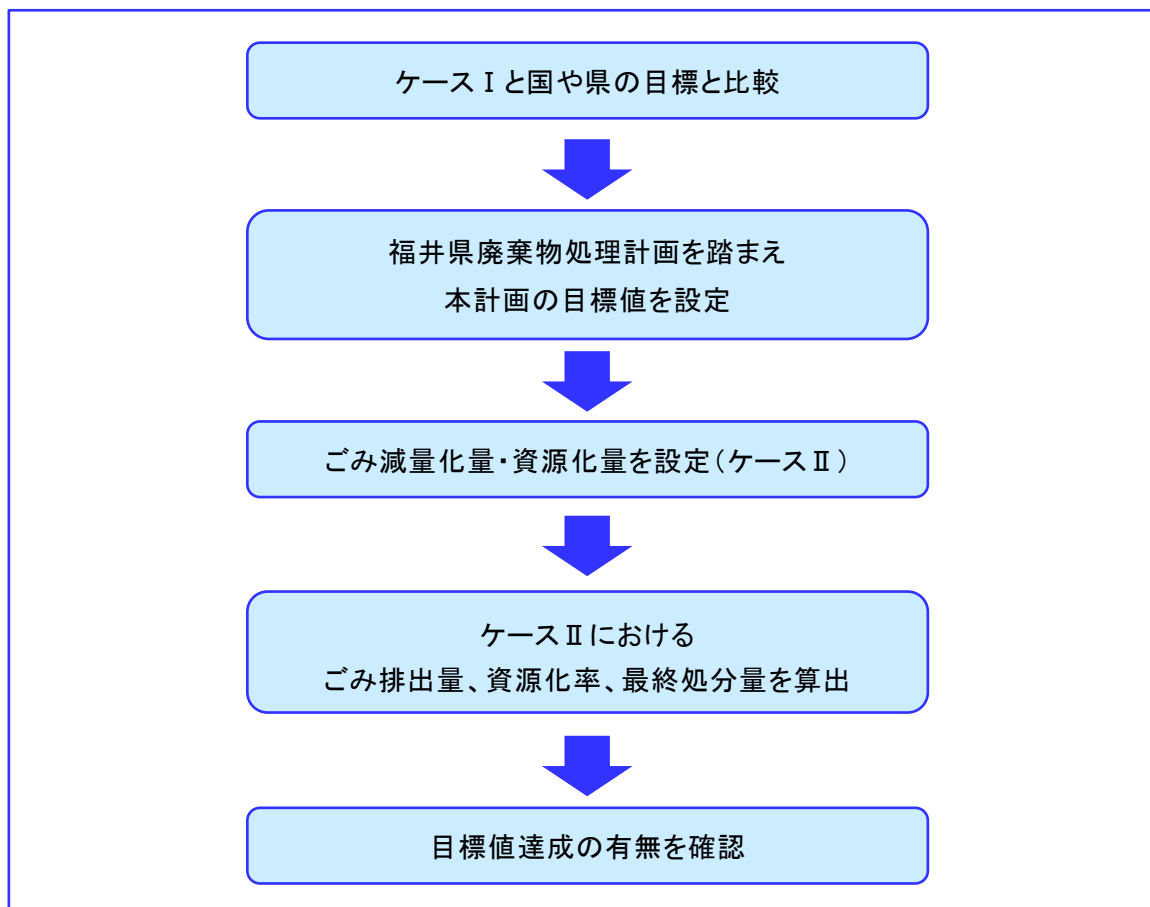


図 4-3-1 目標設定の手順

2. 目標値の設定

「福井県廃棄物処理計画（令和3年3月）」では一般廃棄物の目標値を以下のように設定しています。

＜福井県廃棄物処理計画における令和7年度の目標値＞

1人1日当たりの排出量（集団回収除く）

：231,000t÷令和7年度の推計人口÷365日⇒858g/人日

（総排出量（集団回収除く）：259,298t/年（平成30年度）の11%削減⇒231,000千t/年）

資源化率　　：21%

最終処分量　：28,544t/年（平成30年度）の17%削減⇒24,000t/年

そこで、本計画では、県の目標値を踏まえ、新たな計画目標を以下のように設定しました。

目標値の設定

1人1日当たりの排出量（集団回収除く）：1,060g/人・日（平成30年度実績）の**5%削減**
（県の目標 858g/人・日÷県平成30年度排出量 903g/人・日－1＝5%）
＝ **1,007g/人・日**

資源化率　　： **21%**

最終処分量　：559t/年（平成30年度実績）の17%削減 ⇒ **464t/年以下**

3. 目標を達成するための削減量（参考）

目標を達成するために家庭系においては紙類の分別を 50g/人日、厨芥類の削減を 5g/人日、水切りの実施 5g/人日、事業系においては紙類の分別を 50g/人日、厨芥類の削減を 5g/人日を実施する必要があります。

表 4-3-1 目標値の達成のための家庭系ごみの削減量

		平均ごみ質 (湿ベース)	R2～R6年度 平均排出量 内訳	削減目標	削減割合	備考
		%	g/人日	g/人・日	%	
燃える ごみの 組成	紙類	46.0	223.6	50	22.4	紙類の分別
	布類	3.9	19.0			
	木・竹・ワラ類	9.8	47.6			
	プラスチック類	17.8	86.5			
	ゴム・皮革類	2.2	10.7			
	厨芥類	14.3	69.5	5	7.2	食べ残し等の削減
	不燃物類	1.1	5.3			
	その他	4.9	23.8			
	合計	100.0	486.0	55		
三成分	水分	42.9	209	5	2.4	水切りの強化
	灰分	5.3	26			
	可燃分	51.9	252			
	合計	100.1	486.0	5		
削減目標 合計				60		

表 4-3-2 目標値の達成のための事業系ごみの削減量

		平均ごみ質 (湿ベース)	R2～R6年度 平均排出量 内訳	削減目標	削減割合	備考
		%	g/人日	g/人・日	%	
組成	紙類	45.8	172.4	50	29.0	紙類の分別
	布類	3.9	14.7			
	木・竹・ワラ類	10.3	38.8			
	プラスチック類	17.9	67.4			
	ゴム・皮革類	2.2	8.3			
	厨芥類	13.8	52.0	5	9.6	排出抑制
	不燃物類	1.0	3.8			
	その他	5.1	19.2			
	合計	100.0	376.5	55		
三成分	水分	45.3	171			
	灰分	4.6	17			
	可燃分	50.1	189			
	合計	100.0	376.5	0		
削減目標 合計				55		

4. 目標を達成した場合のごみ排出量など

毎日一人ひとりがごみの削減と資源化に取り組むことで、1人1日当たりのごみ排出量、資源化率及び最終処分量のそれぞれ目標値を達成することができます。ごみの削減と資源化に取り組んだ場合をケースⅡとし、ごみ排出量の見込みを表4-3-3、表4-3-4、図4-3-2に示します。

表4-3-3 ごみ排出量の見込み（ケースⅡ）

項目	実績		見込み	
	R2	R6	R12	R17
人口(3月31日) (人)	8,174	7,668	7,081	6,843
総排出量 (t/年)	3,492	2,864	2,631	2,534
家庭系ごみ (t/年)	2,106	2,131	1,954	1,878
事業系ごみ (t/年)	1,386	733	677	656
家庭系ごみ (t/年)	2,106	2,131	1,954	1,878
燃やすごみ (t/年)	1,201	1,680	1,474	1,353
埋立ごみ (t/年)	430	114	105	102
資源ごみ (t/年)	382	262	307	360
その他のごみ (t/年)	2	3	3	3
集団回収 (t/年)	91	72	65	60
事業系ごみ (t/年)	1,386	733	677	656
燃やすごみ (t/年)	1,376	723	603	522
資源ごみ (t/年)	10	10	74	134
1人1日当たりごみ排出量 (g/人日)	1,170.4	1,023.3	1,018.0	1,011.8
家庭系ごみ (g/人日)	705.9	761.4	755.7	749.7
燃やすごみ (g/人日)	402.5	600.3	570.3	540.3
埋立ごみ (g/人日)	144.1	40.7	40.7	40.7
資源ごみ (g/人日)	128.0	93.6	118.6	143.6
その他のごみ (g/人日)	0.7	1.1	1.1	1.1
集団回収 (g/人日)	30.5	25.7	25.0	24.0
家庭系ごみ(資源除く) (g/人日)	547.3	642.1	612.1	582.1
事業系ごみ (g/人日)	464.6	261.9	261.90	261.90
燃やすごみ (g/人日)	461.2	258.3	233.3	208.3
資源ごみ (g/人日)	3.4	3.6	28.6	53.6
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く) (g/人日)	1,139.9	997.6	993.0	987.8

表 4-3-4 ごみ処理量の見込み（ケースⅡ）

項目		実績		見込み	
		R2	R6	R12	R17
焼却処理量	(t/年)	2,577	2,403	2,077	1,875
直接焼却量	(t/年)	2,577	2,403	2,077	1,875
資源化施設からの残渣	(t/年)	0	0	0	0
1人1日当たりごみ焼却量	(g/人日)	864	859	804	749
資源化施設	(t/年)	394	275	384	497
埋立ごみ(直接埋立除く)	(t/年)	0	0	0	0
資源ごみ(直接資源化除く)	(t/年)	392	272	381	494
粗大ごみ	(t/年)	2	3	3	3
資源化量	(t/年)	483	344	446	554
紙類(容器包装等含む)	(t/年)	237	194	308	421
金属類	(t/年)	120	81	75	72
ガラス類	(t/年)	47	38	35	34
ペットボトル	(t/年)	24	26	24	23
容器包装プラ	(t/年)	48	0	0	0
その他プラ	(t/年)	7	0	0	0
布類	(t/年)	0	5	5	4
資源化率	(%)	13.8	12.0	17.0	21.9
最終処分量	(t/年)	761	334	339	312
直接埋立	(t/年)	430	114	105	102
焼却残渣	(t/年)	331	220	233	210
不燃残渣	(t/年)	0	0	1	0
資源化施設	(t/年)	0	0	1	0
1人1日当たりの最終処分量	(g/人日)	255	119	131	125
最終処分率	(%)	21.8	11.7	12.9	12.3

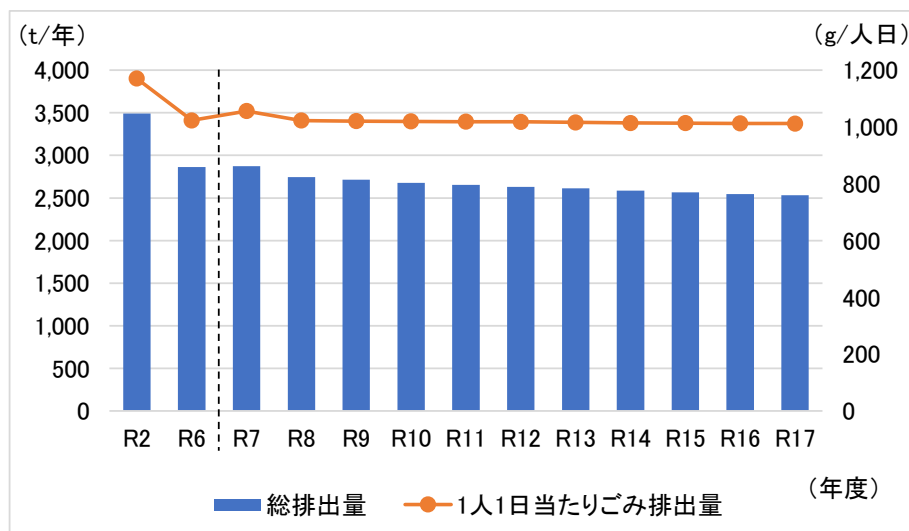


図 4-3-2 ごみ排出量の見込み（ケースⅡ）

5. 基本方針に基づく主な施策

基本方針に基づく主な施策を示します。

主な施策を町民、事業者、行政がそれぞれ取り組み、目標の達成を目指します。

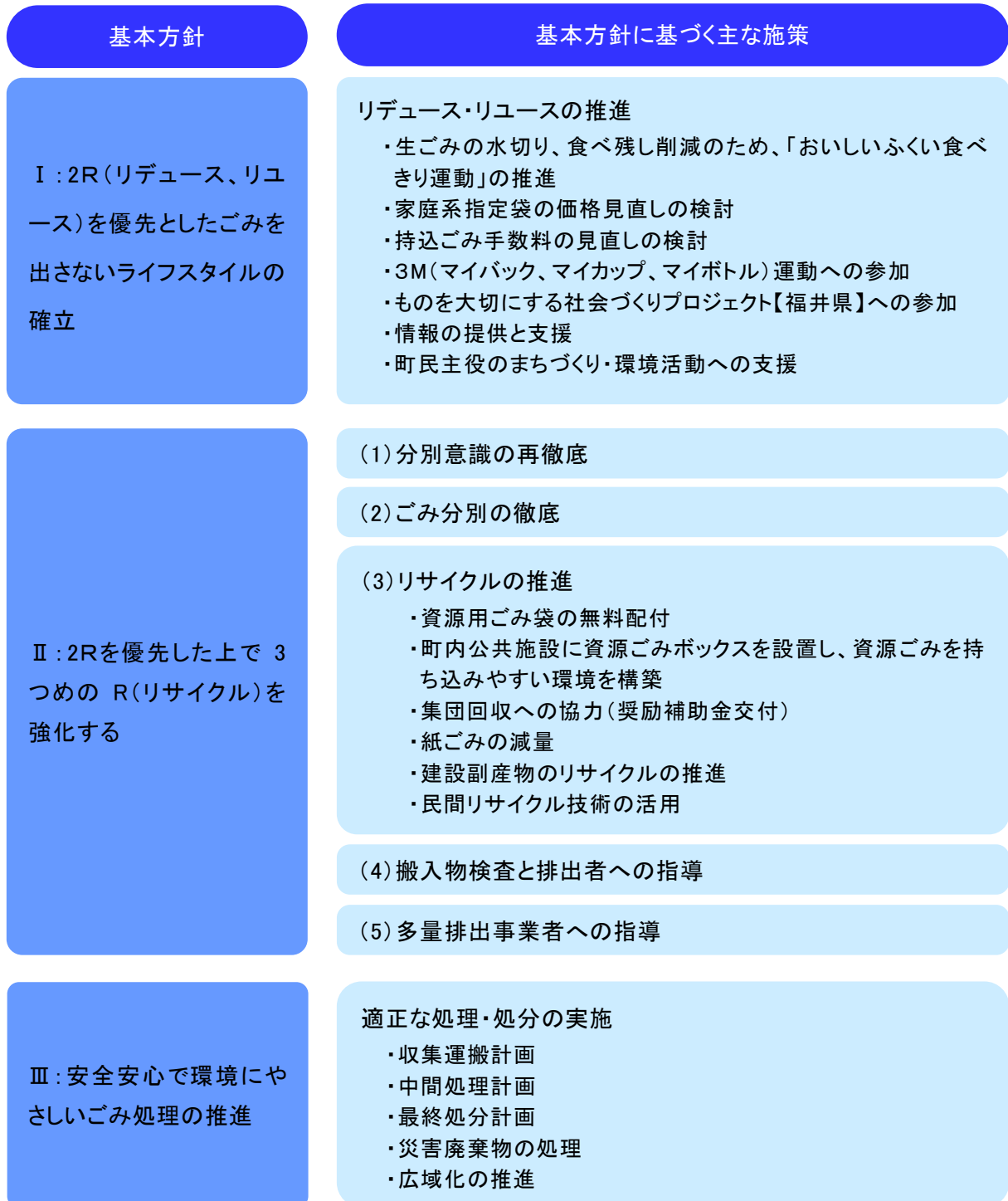


図 4-3-3 施策体系図

6. 町民の役割

基本方針に基づく主な施策において、町民が取り組む内容を示します。

町民の役割	
(1)	生ごみの水切り、食べ残し削減のため、「おいしいふくい食べきり運動」への参加 燃やすごみには、紙類、プラスチック類について生ごみが多く含まれており、また、生ごみは多くの水分を含んでいます。町民は、毎日水切りを実践し、燃やすごみの削減に努めます。 食べ残しや余分な食材の購入を減らすことで燃やすごみの発生を抑制します。「おいしいふくい食べきり運動」を実践し、家庭では料理を必要な分だけ作る、食材を使い切る、飲食店では食べ残しがないよう食べきれる量だけを注文し料理をおいしく食べきる、残った料理は持ち帰るなどを心がけます。
(2)	ごみ分別の徹底 燃やすごみ・その他不燃物・資源ごみ・有害ごみの分別を徹底します。特に、燃やすごみには紙類が多く含まれています。燃やすごみに含まれている、その他紙（紙箱、包装紙、紙の芯など）の分別回収運動に取り組むなど、ごみの減量と資源化に努めます。
(3)	集団回収への協力 資源となる紙類や布は地域の集団回収に協力します。
(4)	3M 運動への参加 排出された燃やすごみには、紙類や廃プラスチックが多く含まれています。町民は、3M 運動（マイバック、マイカップ、マイボトル）を推進するとともに、過剰包装を断るなどして、紙類や廃プラスチックの発生を抑制します。
(5)	ものを大切に作る社会づくりプロジェクトへの参加 フリーマーケットやリサイクルショップを利用し、不用になったものを必要としている人に譲る、また、使用可能な家具や家電製品をむやみに捨てず、修理して長く使用することでごみの発生抑制に努めます。

7. 事業者の役割

基本方針に基づく主な施策において、事業者が取り組む内容を示します。

事業者の役割	
(1)	ごみ分別の徹底 燃やすごみ・その他不燃物・資源ごみ・有害ごみの分別を徹底します。特に、燃やすごみと資源ごみの分別を徹底し、ごみの減量と資源化に努めます。
(2)	紙ごみの減量 無駄な紙を排出しないよう、コピー用紙の裏面利用や集約コピーを行い、紙ごみの減量化を図ります。また、電子決裁を推進します

事業者の役割	
(3)	適正な処理・処分の実施 事業活動に伴って生じた廃棄物は、自らの責任において適正に処理するとともに、その処理に関する技術の開発に努め、ごみの減量化やリサイクルの推進を図ります。

8. 行政の役割

基本方針に基づく主な施策において、行政が取り組む内容を示します。

行政の役割	
(1)	ごみ分別の徹底 職員自らが率先して、燃やすごみ・その他不燃物・資源ごみ・有害ごみの分別を徹底します。特に、燃やすごみと資源ごみの分別を徹底し、ごみの減量と資源化に努めます。ごみのリデュース、リユース、リサイクル、グリーン購入に率先して取り組みます。
(2)	分別意識の再徹底 各区長などに協力を頂きながら、収集条件を厳格化し、分別意識の再徹底を行います。「ごみの分別区分と出し方・ワンポイント」を改訂し、分別・資源化意識の再徹底を図ります。
(3)	リサイクルの推進 資源用ごみ袋の無料配付（定量）を行います。 町内公共施設に資源ごみボックスを設置し、資源ごみを持込みやすい環境を構築します。 集団回収へ協力し、PTA などの資源回収団体や事業者に対し、奨励補助金を交付します。 紙ごみの減量化を図るため、無駄な紙を排出しないよう、コピー用紙の裏面利用や集約コピーを行います。また、電子決裁を推進します。 建設副産物のリサイクルを推進します。 民間リサイクル技術を活用します。 町内のバイオマス（生ごみ）の利用可能量を調査し、バイオマスの利活用を図ります。
(4)	情報の提供と支援 町民・事業者が積極的に 2R に取り組み、ごみの分別を徹底できるよう指導します。事業系ごみのリサイクルルート模索など、発生抑制のための情報を提供します。 小中学校における環境教育、子どもから大人までを対象とする環境学習を実施します。
(5)	町民主役のまちづくり・環境活動への支援 イベントの開催を、行政主導型から町民主体型に移行していくための制度づくりを行い、町民主体の活動を支援します
(6)	家庭系指定袋の価格見直しの検討 効果的なごみ有料化の事例を調査研究し、家庭系指定袋の価格見直しを検討します。
(7)	持込ごみ手数料の見直しの検討 近隣の持込ごみの手数料とごみ量の関係を調査研究し、手数料の見直しを検討します。

行政の役割	
(8)	搬入物検査と排出者への指導 持込ごみの搬入時に、立会による搬入物検査を実施し、資源ごみなどの搬入を防止するとともに、排出者に対して適正排出の指導を行います。収集ステーションにおいても不適正に排出されたごみ袋を未回収とすることで排出者に適正な分別を促します。
(9)	多量排出事業者への指導 多量排出事業者に対し、戸別訪問による分別の指導や協力依頼を行います。
(10)	適正な処理・処分の実施 町民・事業者が排出したごみを、環境に負荷を与えないように配慮しながら、適正かつ衛生的に処理・処分します。

9. 食品ロスの削減

本来は食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」は、日本では、令和5年度に約464万トン発生したと推計されています。食品ロスを減らすことは、環境への負荷を軽減し、限りある資源を有効に活用するために非常に重要です。

令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、令和2年3月には、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が策定されました。行政、事業者、消費者、関係団体等の取り組みを促進し、各主体間の連携強化を図ることで食品ロス削減の取り組みを展開することとされました。

こうした背景を踏まえ、本町では以下の取り組みを通じて、食品ロスの削減を積極的に推進していきます。

1) 啓発活動の強化

- ・食品ロス削減の重要性を広く周知するため、広報誌やホームページ、SNS、アプリなどを活用した情報発信の強化を検討します。
- ・学校教育や地域イベントを通じた啓発活動を展開し、子どもから大人まで幅広い世代への理解と関心を促します。
- ・これらの取り組みにより、町民一人ひとりが食品ロスの削減に向けた行動を自ら実践し、日常生活の中で意識的に取り組むことができるように、意識の醸成と行動変容を促していきます。

2) 事業者との連携

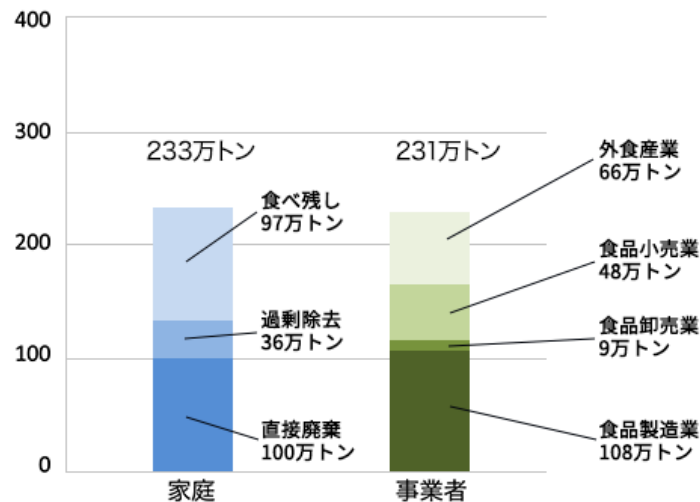
- ・外食産業や小売店と連携し、「おいしいふくい食べきり運動（福井県下で実施されている）」及び「30・10運動」の推進により、食品の無駄を減らす取り組みを推進します。
- ・消費期限が近い食品を割引価格で販売する情報を提供する仕組み、規格外商品や余剰在庫を抱える販売者と消費者をマッチングさせる仕組みなどを紹介します。

3) 食品ロス量の把握と目標設定

- ・家庭系ごみ及び事業系ごみ中の食品廃棄物の割合を把握する調査を実施し、そのデータを基に具体的な削減目標を設定することを検討します。

「食品ロス」-まだ食べられるのに廃棄される食品

国は、家庭系食品ロス量、事業系食品ロス量を削減するため、様々な取組を推進しています。その結果、2000 年度に 980 万トンあった食品ロス量は、2023 年度に 464 万トンまで減少しました。



出典：環境省「食品ロスポータルサイト」

10. プラスチックごみ対策

令和元年 5 月、政府は、海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化の幅広い課題に対応するため、「プラスチック資源循環戦略」を策定し、3R+Renewable の基本原則と、6 つの野心的なマイルストーンを目指すべき方向性として掲げました。その重点項目の一つである「効果的・効率的で持続可能なリサイクル」では、使用済みプラスチック資源の効果的・効率的で持続可能な回収・再生利用を図るための取組みを推進しています。

また、令和 4 年 4 月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、さらなる資源循環を推進しています。

現在、本町では製品プラスチックを燃やすごみとして処理していますが、今後は、本町においても情報収集を行い、製品プラスチックの資源化に向けた方法を検討します。

1) 分別方法について

- ・製品プラスチックごみのマテリアルリサイクルを推進するにあたり、分別方法の見直しを行い、効率的かつ効果的な資源化が図られるように検討を進めます。
- ・町民が正しく分別できるよう、新しい分別ガイドラインの作成・配布、新たな分別方法に対する住民説明会や勉強会を開催するなど、わかりやすい情報提供に努めます。

2) 啓発活動の強化

- ・町民や事業者に対する啓発活動を強化し、リサイクルの重要性や具体的な実施方法をわかりやすく周知することで、地域全体の意識向上と積極的な参加を促します。

- ・子どもや親子を対象とした環境学習やイベント等を通じて、環境意識の向上を図ります。

※3R+Renewable：3R「Reduce（ごみの発生や資源の消費自体を減らす）」、「Reuse（ごみにせず繰り返し使う）」、「Recycle（ごみにせず再資源化する）」に加えて、「Renewable（再生可能な資源に替える）」という考え方も、近年重要になっています。3R+Renewableを実践し、資源循環に配慮した消費行動に積極的に取り組むことが期待されています。

※Renewable：「再生可能な」という意味です。行動としては、再生不可能な資源から再生可能な資源に替えることを指します。（プラスチック製品からバイオマスプラ製品に替えるなど。）



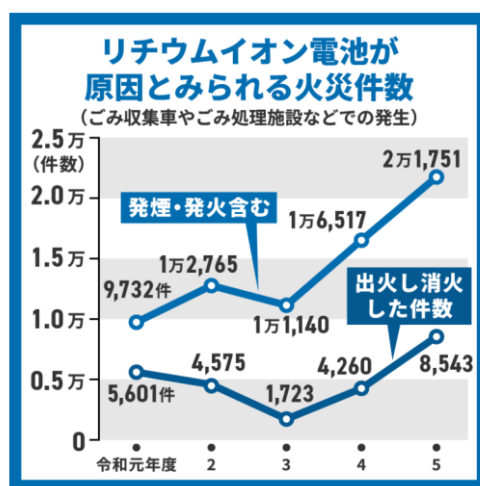
若狭湾に漂着したプラスチックごみ

1 1. リチウムイオン電池対策

全国的に、スマートフォンなどリチウムイオン電池使用製品の使用時・廃棄時に出火する事故が多発しています。リチウムイオン電池は強い衝撃などを受けると発火するおそれがあり、誤った分別でゴミとして出された場合、ゴミ収集車内での圧縮や処理施設での破碎時に火災が発生するケースも確認されています。

特に、リチウムイオン電池が原因とみられるゴミ処理時の火災事故は近年増加しており、リチウムイオン電池の混ざった一般ゴミからの出火件数は、全国において令和 4 年度 4,260 件から令和 5 年度 8,543 件へと倍増しています。また、施設の設備が破損し、復旧に数億円を要したケースや、長期間ゴミの回収が停止となったケースが発生しています。

そこで、本町では、事故を防止するため、令和 5 年度から電池類の拠点回収を開始しました。今後も、リチウムイオン電池などの回収方法について、周知・啓発を強化します。



資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査（令和 5 年度実績）」から政府広報室作成

1) 分別方法について

- ・火災事故などを防止するため、小型家電やおもちゃ等リチウムイオン電池が含まれた製品の排出方法を検討します。

2) 啓発活動の強化

- ・本町では、町民が正しく排出できる分別方法について、情報提供に努めます。
- ・リチウムイオン電池は、強い衝撃や圧力が加わったり、高温の環境下にさらされたりすると、内蔵電池が変形・破損して発煙・発火に至る場合があることから、リチウムイオン電池が含まれる製品の使用方法や廃棄方法について注意喚起を行います。

第4節 収集運搬計画

1. 収集運搬に関する目標

分別排出されたごみは、迅速かつ衛生的に収集運搬し、資源化及び適正処理・処分を図り、行政サービスの向上を図ります。

また、町民が各々のライフスタイルに合わせて参加しやすい、取り組みやすい仕組みとするため、町内で随時排出できる回収拠点を検討します。

2. 収集区域

本町全域を収集区域とします。

3. 収集運搬方法及び量

家庭系ごみの収集運搬は、収集ステーション方式を継続し、現在の収集体制を継続します。令和5年度以降、家庭系ごみが増加したことに伴い、図4-4-1に示すように、令和6年度の収集運搬量は増加しています。今後は排出量の削減に加え、さらに人口が減少するため、収集運搬量は減少する見込みです。

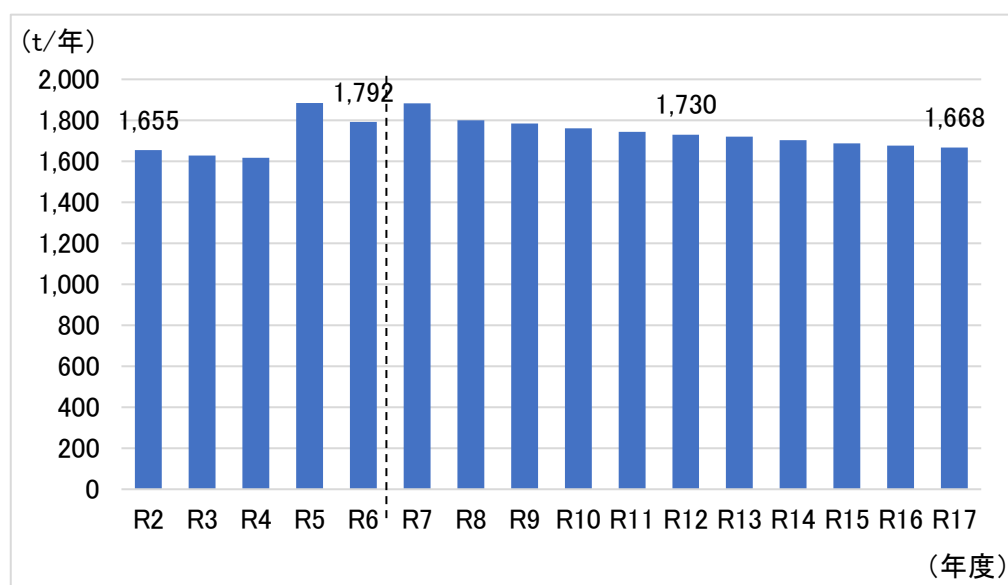


図4-4-1 収集運搬量の見込み

第5節 中間処理計画

1. 中間処理に関する目標

排出されたごみの処理は、資源化を進め、燃やすごみは若狭広域クリーンセンターで安全かつ衛生的に焼却処理を行います。資源ごみは資源化選別を実施し、その他不燃物は埋立処分します。有害ごみは委託処理とします。

2. 中間処理の方法及び量

中間処理の方法は、現在の処理方法を継続するものとしますが、デジタルカメラやゲーム機などの小型家電やリチウムイオン電池については、小型家電リサイクル法や資源有効利用促進法に則り、回収・資源化することを検討します。

焼却処理量は図4-5-1に示すように、燃やすごみの発生を抑制し、資源ごみの分別を徹底することで、年々減少する見込みです。

資源ごみ（特に紙類）の分別を徹底することで、資源化量は目標年度まで増加し、資源化率は21%以上となる見込みです。

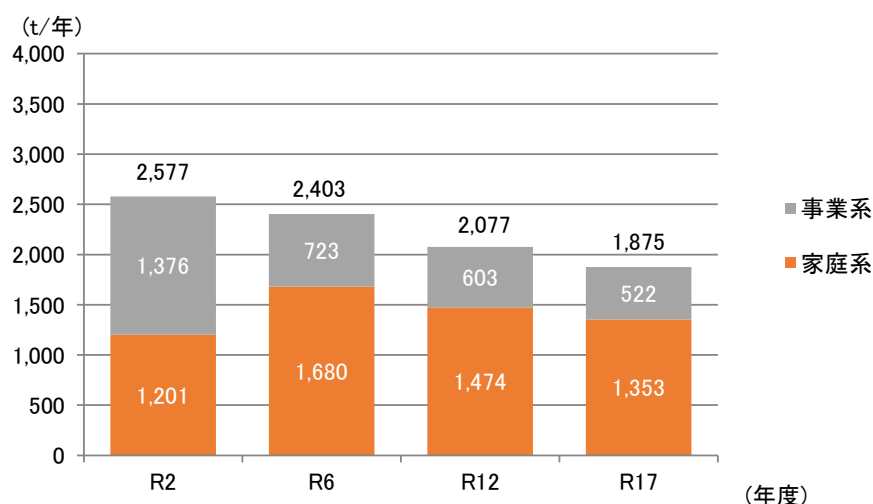


図 4-5-1 焼却処理量の見込み

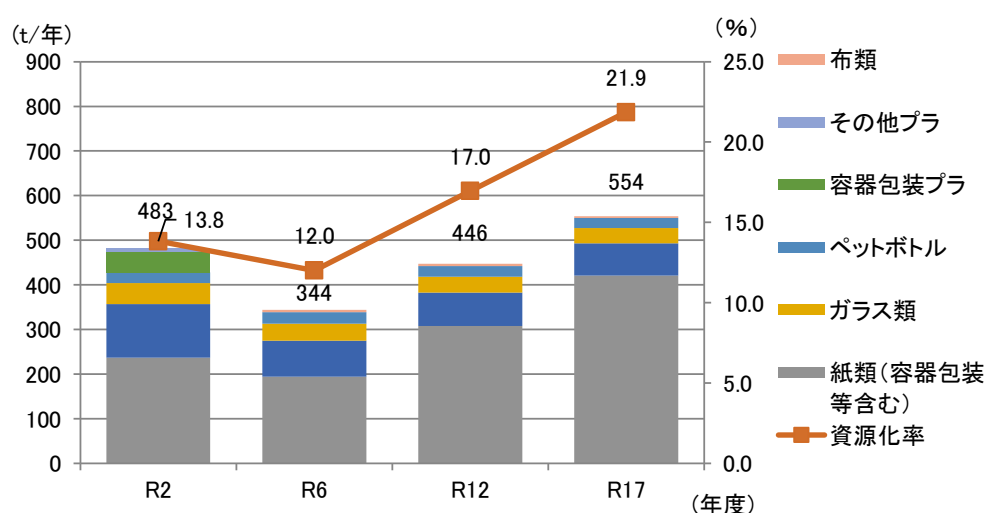


図 4-5-2 資源化量及び資源化率の見込み

第 6 節 最終処分計画

1. 最終処分に関する目標

燃やすごみを焼却した際に発生する焼却灰は、埋立処分します。燃やすごみを削減し、分別を徹底することで、最終処分量の削減に努めます。

2. 最終処分の方法及び量

燃やすごみを焼却した際に発生する焼却灰とその他の不燃物は、えこあいらんどと小浜市リサイクルプラザにて埋立処分します。

なお、最終処分に際しては、環境への負荷を軽減し、安全かつ安心して処分が継続できる体制を保持します。

ごみ減量化と分別の徹底、中間処理により、最終処分量は約 300t/年、最終処分率は 12%前後で推移する見込みです。

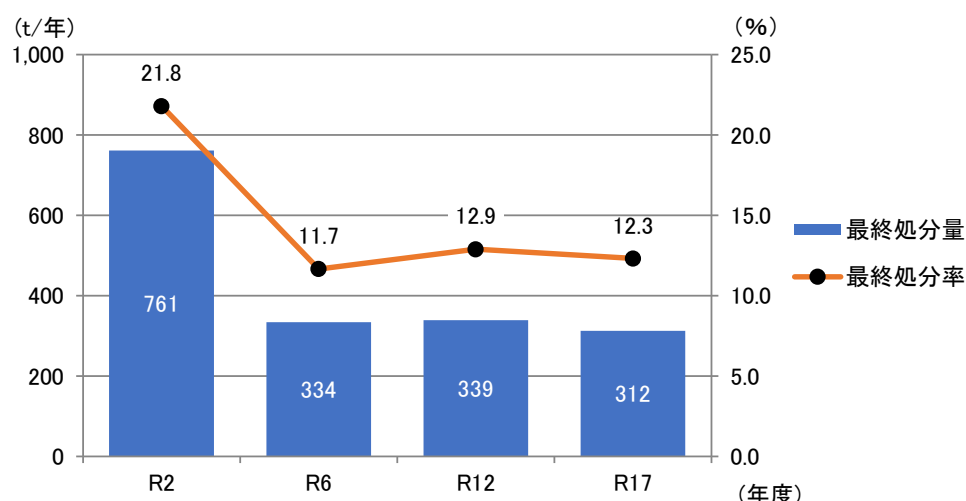


図 4-6-1 最終処分量と最終処分率の見込み

3. 持込ごみの受入基準の検討

持込ごみが増加しているのは、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の違いが不明確であり、持込ごみに産業廃棄物が混入していると考えられます。このことを踏まえ、搬入物検査などを行い、下記のような持込ごみの受入基準を検討します。

- ・えこあいらんどでは産業廃棄物の受入を行っていないことから、その旨を周知し排出事業者に対して適正な処理方法を指導する。

4. 施設の将来見通し、整備方針

えこあいらんどの埋立期限は令和 10 年 8 月となっていますが、受入れの継続を検討します。また、広域化による埋立処分に向けて、調査、研究を進めます。

第 7 節 災害廃棄物の処理

1. 基本的な考え方

「おい町災害廃棄物処理計画」に基づき、適正かつ迅速な処理手順を定めるとともに、発災直後の混乱期から県や他自治体、民間事業者からの支援を円滑に受け入れる「受援体制」の確立を最重要事項として位置づけ、組織的な対応力を確保します。

2. 処理の基本方針と実施

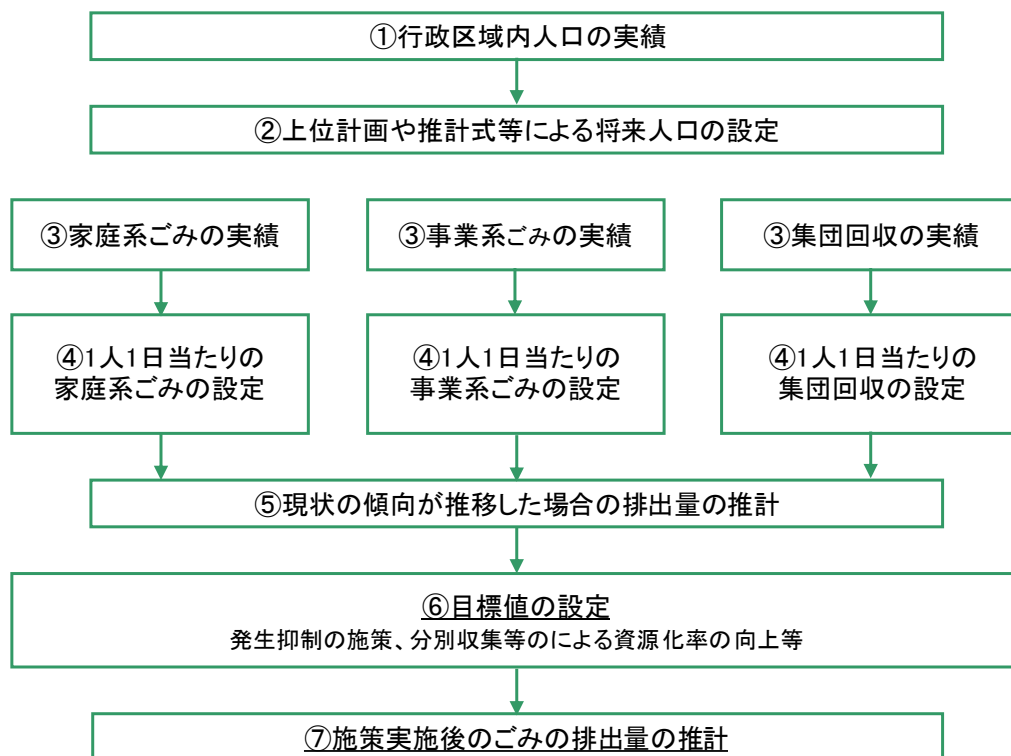
「適正な処理」「迅速な処理」「減量化・再生利用」、そして「受援体制の早期確立と最大限の活用」を基本方針とします。平時は支援協定の締結や仮置場選定等の備えを行い、発災時は避難所ごみ等の生活衛生確保を最優先とします。災害廃棄物は、徹底した分別管理の下で仮置場へ搬入し、必要に応じて広域処理を実施することで、早期の復旧・復興を目指します。

【参考資料】

1. ごみの排出量の予測方法

ごみ量の予測フローを以下に示します。

まず現状の傾向が推移した場合のごみ量を推計し、次に、将来構想などを十分に把握した上で目標を設定し、推計します。



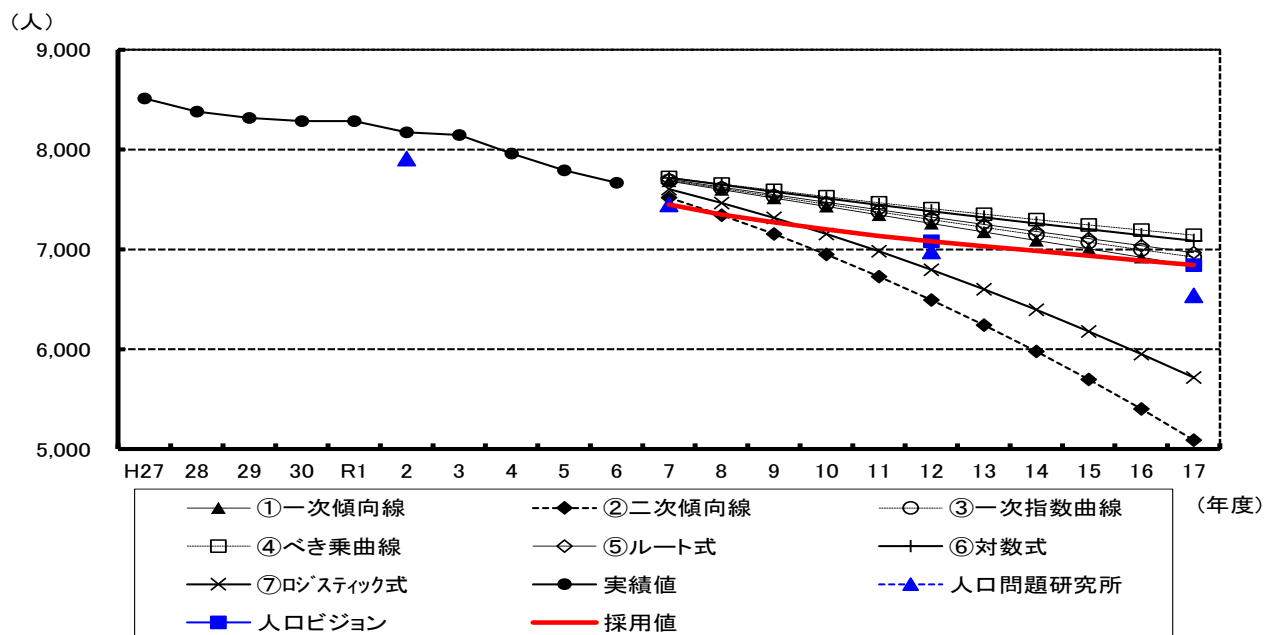
参考図 1 予測フロー

- ① 行政区域内人口の実績を整理します。
- ② 上位計画（総合計画など）により、将来の人口を設定します。
- ③ 家庭系ごみ量、事業系ごみ量、集団回収量の過去 5 年間の実績を整理します。
- ④ ③の傾向を踏まえ、将来の 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ量、1 人 1 日当たりの事業系ごみ量、1 人 1 日当たりの集団回収量を予測式などを用いて設定します。
- ⑤ 設定した 1 人 1 日当たりの収集ごみ量及び集団回収量に②将来の人口を乗じたものを年間排出量の推計値とします。持込ごみ量は、設定した 1 日当たりの持込ごみ量から年間排出量を推計します。
- ⑥ 目標値を設定します。国や県の目標を踏まえ、ごみの発生を抑える施策（リデュース）、ごみとしないで再使用・再生利用する施策（リユース・リサイクル）など、既存の施策と新たな施策を検討し、削減量を決めます。
- ⑦ 施策の実施あるいは目標値の設定に合わせて、ごみの排出量を算出します。

2. 人口の予測

人口実績は減少しているため、予測式はいずれの式も減少傾向を示しました。本計画では、本町が人口の現状と将来の展望を提示する「おい町人口ビジョン」を策定していることを踏まえ、この「おい町人口ビジョン」における「人口の将来展望」を将来の人口とします。

年度	実績値	推計値							人口問題 研究所	人口ビジョン	採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式			
H27	8,512										
28	8,381										
29	8,316										
30	8,286										
R1	8,286										
2	8,174								7,910		
3	8,146										
4	7,960										
5	7,793										
6	7,668										
7		7,685	7,519	7,691	7,722	7,701	7,717	7,641	7,450		7,450
8		7,600	7,344	7,611	7,655	7,624	7,647	7,527			7,350
9		7,515	7,154	7,531	7,591	7,547	7,578	7,408			7,270
10		7,430	6,949	7,452	7,528	7,472	7,511	7,283			7,200
11		7,345	6,729	7,375	7,468	7,397	7,446	7,152			7,135
12		7,260	6,493	7,298	7,410	7,324	7,383	7,016	6,979	7,081	7,081
13		7,175	6,243	7,221	7,353	7,251	7,321	6,875			7,033
14		7,090	5,978	7,146	7,298	7,179	7,260	6,728			6,985
15		7,005	5,697	7,071	7,245	7,108	7,201	6,577			6,937
16		6,920	5,402	6,997	7,194	7,038	7,143	6,420			6,889
17		6,835	5,091	6,924	7,143	6,968	7,086	6,259	6,540	6,843	6,843
18		6,750	4,766	6,852	7,095	6,900	7,031	6,094			
19		6,665	4,425	6,780	7,047	6,832	6,976	5,924			
20		6,580	4,070	6,710	7,001	6,764	6,923	5,752			
21		6,495	3,699	6,640	6,956	6,698	6,871	5,576			
22		6,410	3,314	6,570	6,912	6,632	6,820	5,397	6,112	6,646	
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \sqrt{x}$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$			
	定数 a	10829.50909	3434.60000	11342.31173	25013.00196	13465.58924	17236.78717	0.01263			
	定数 b	-84.99394	388.46061	0.98956	-0.32550	-947.69820	-6070.59010	-0.07826			
	定数 c		-7.51515								
	収束値 k							9,388			
	相関係数	0.96097	0.98472	0.95805	0.94851	0.95654	0.95178	0.97428			
	相関順位	3	1	4	7	5	6	2			
	数値順位	5	7	4	1	3	2	6			



参考図2 人口の予測結果

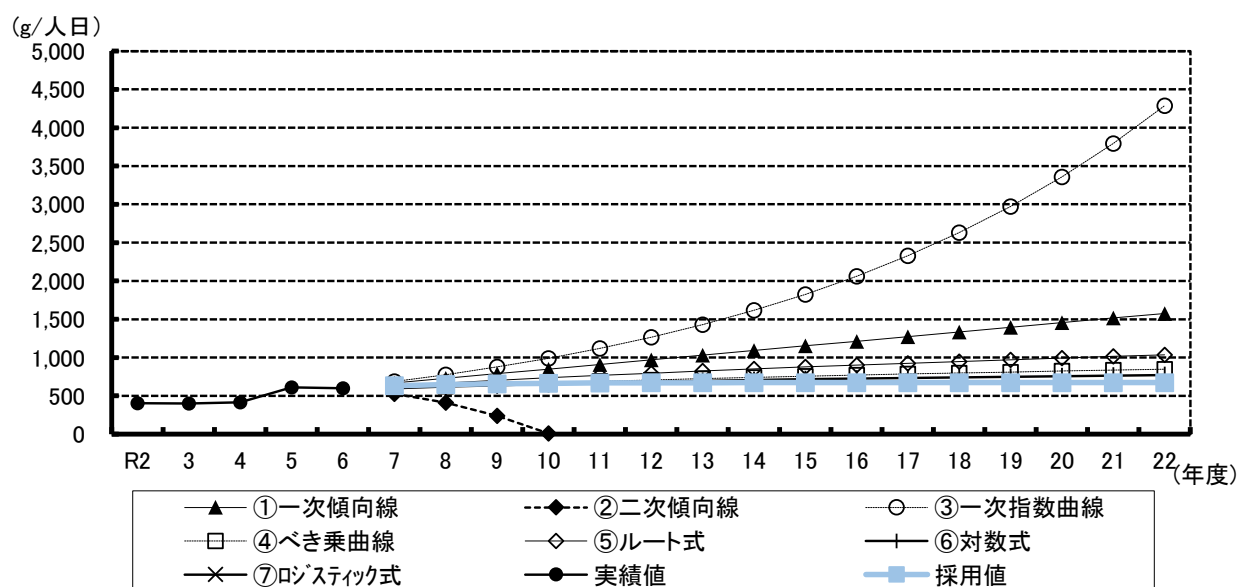
3. ごみ排出量の予測

1) 家庭系ごみ量の予測結果

(1) 燃やすごみ

燃やすごみは令和5年度以降大きく増加したため、二次傾向線を除く全ての予測式が増加傾向を示す結果となりました。しかしながら、令和5年度以前は横ばい、令和6年度は前年度から減少していることから、増加傾向が最も緩やかなロジスティック式を採用します。

年度	実績値	推計値							採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
R2	403								
3	402								
4	414								
5	612								
6	600								
7		668	525	687	599	632	600	632	632
8		728	410	776	625	669	621	648	648
9		789	238	877	649	704	639	658	658
10		849	9	991	670	736	655	664	664
11		910	-277	1,120	690	767	670	668	668
12		971	-619	1,265	708	796	683	670	670
13		1,031	-1,019	1,429	725	824	694	671	671
14		1,092	-1,476	1,615	742	851	705	672	672
15		1,152	-1,990	1,824	757	877	716	672	672
16		1,213	-2,561	2,061	771	902	725	673	673
17		1,274	-3,189	2,328	785	926	734	673	673
備考	推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=\frac{k}{(1+a\cdot e^{-bx})^2}$	
	定数 a	304.24000	16.11000	330.39874	366.09998	168.73239	355.27863	2	
	定数 b	60.58000	255.76643	1.12980	0.27522	189.23588	314.30970	0.53384	
	定数 c		-28.50357						
	収束値 k							673	
	相関係数	0.87731	0.74142	0.88839	0.82361	0.84379	0.79519	0.84075	
	相関順位	2	7	1	5	3	6	4	
	数値順位	2	7	1	4	3	5	6	

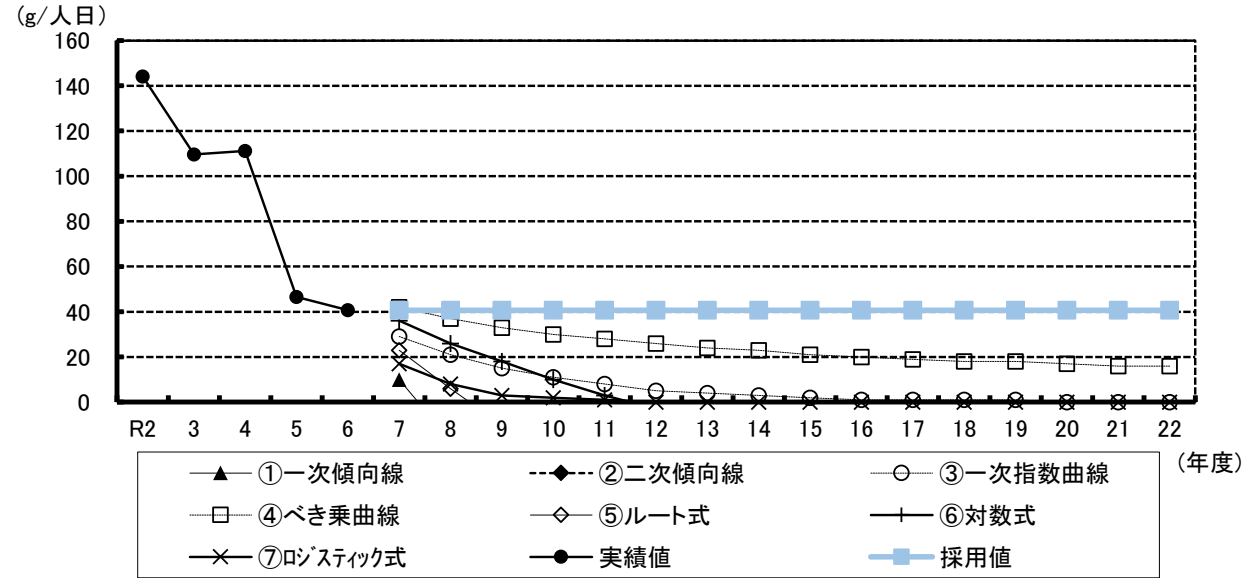


参考図 3 燃やすごみの予測結果

(2) 埋立ごみ

埋立ごみは近年大きく減少しています。しかし、令和5年度以降は減少傾向が弱まっていると考えられるため、令和6年度実績が続くものと考えました。

年度	実績値	推計値							採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
R2	144								
3	110								
4	111								
5	47								
6	41								
7		10	-92	29	42	23	36	17	41
8		-17	-235	21	37	6	26	8	41
9		-44	-414	15	33	-10	18	3	41
10		-71	-629	11	30	-24	10	2	41
11		-98	-880	8	28	-38	3	1	41
12		-125	-1,167	5	26	-52	-3	0	41
13		-152	-1,490	4	24	-65	-9	0	41
14		-179	-1,849	3	23	-77	-14	0	41
15		-206	-2,244	2	21	-89	-19	0	41
16		-233	-2,675	1	20	-100	-23	0	41
17		-260	-3,142	1	19	-111	-27	0	41
備考	推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
	定数 a	171.38000	6.95333	221.50374		235.89110	152.51968	0	
	定数 b	-26.98000	91.60714	0.71292	-0.78771	-86.76052	-149.28877	-0.84138	
	定数 c		-18.02619						
	収束値 k							159	
	相関係数	0.93757	0.68718	0.89027	0.80178	0.91407	0.87724	0.95289	
	相関順位	2	7	4	6	3	5	1	
	数値順位	6	7	2	1	5	4	2	

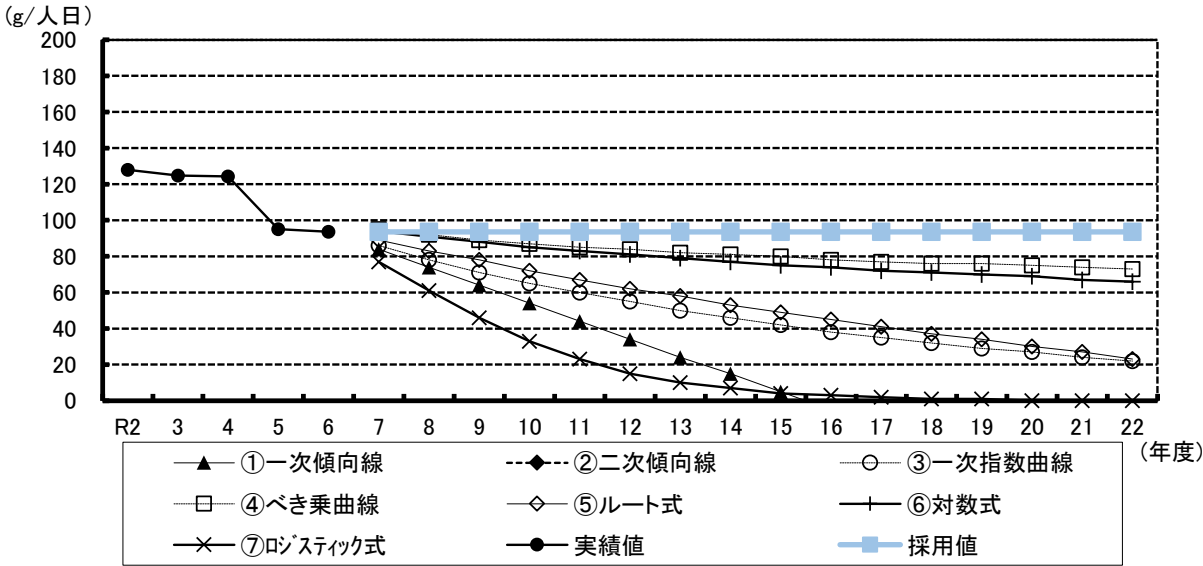


参考図 4 埋立ごみの予測結果

(3) 資源ごみ

資源ごみは近年大きく減少しています。しかし、令和5年度以降は減少傾向が弱まっていると考えられるため、令和6年度実績が続くものと考えました。

年度	実績値	推計値							採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
R2	128								
3	125								
4	124								
5	95								
6	94								
7		84	-5	86	95	89	94	77	94
8		74	-114	78	92	83	91	61	94
9		64	-254	71	89	78	88	46	94
10		54	-425	65	87	72	85	33	94
11		44	-626	60	85	67	83	23	94
12		34	-858	55	84	62	81	15	94
13		24	-1,121	50	82	58	79	10	94
14		15	-1,414	46	81	53	77	7	94
15		5	-1,738	42	80	49	75	4	94
16		-5	-2,093	38	78	45	74	3	94
17		-15	-2,479	35	77	41	72	2	94
備考	推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
	定数 a	142.72000	5.42167	146.71915	136.19330	164.98131	134.62722	0.05360	
	定数 b	-9.86000	90.39750	0.91404	-0.20387	-30.92296	-51.67231	-0.45604	
	定数 c		-15.35417						
	収束値 k							141	
	相関係数	0.90016	0.29069	0.88758	0.79837	0.86750	0.82062	0.92127	
	相関順位	2	7	3	6	4	5	1	
	数値順位	6	7	4	1	3	2	5	

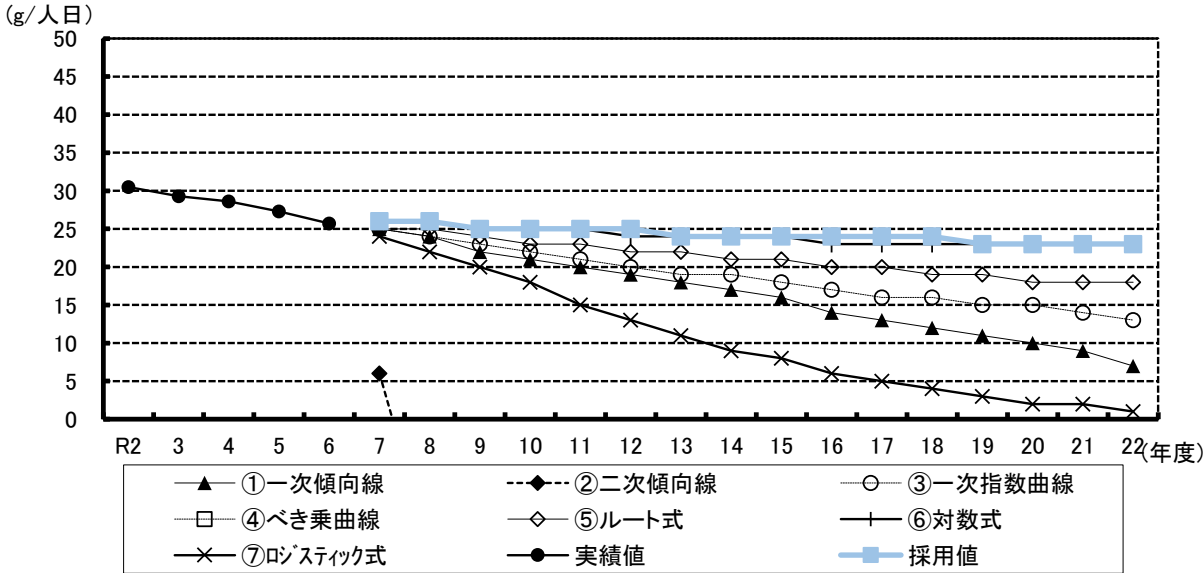


参考図 5 資源ごみの予測結果

2) 集団回収量の予測結果

集団回収は実績が減少傾向のため、予測式はすべて減少傾向を示す結果となりました。
そのうち最も緩やかに減少するべき乗曲線の予測値を採用します。

年度	実績値	推計値							採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
R2	30.5								
3	29.3								
4	28.6								
5	27.3								
6	25.7								
7		25	6	25	26	25	26	24	26
8		24	-17	24	26	25	26	22	26
9		22	-46	23	25	24	25	20	25
10		21	-82	22	25	23	25	18	25
11		20	-124	21	25	23	25	15	25
12		19	-174	20	25	22	24	13	25
13		18	-229	19	24	22	24	11	24
14		17	-292	19	24	21	24	9	24
15		16	-361	18	24	21	24	8	24
16		14	-437	17	24	20	23	6	24
17		13	-520	16	24	20	23	5	24
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \sqrt{x}$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	
	定数 a	31.76000	1.29417	31.95637	30.99562	34.49582	30.91890	0.07915	
	定数 b	-1.16000	20.79375	0.95952	-0.09757	-3.70769	-6.34602	-0.26896	
	定数 c		-3.33542						
	収束値 k							34	
	相関係数	0.98842	-0.06728	0.98504	0.93081	0.96950	0.93819	0.99659	
	相関順位	2	7	3	6	4	5	1	
	数値順位	5	7	4	1	3	1	6	



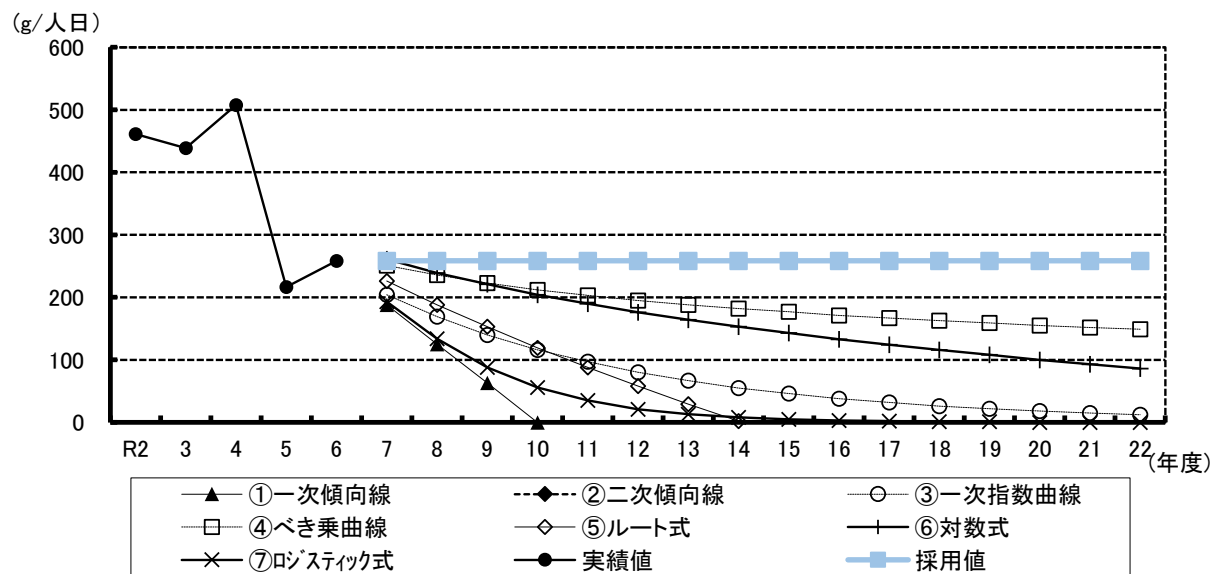
参考図 6 集団回収の予測結果

3) 事業系ごみ量の予測結果

(1) 燃やすごみ

燃やすごみは近年大きく減少しています。しかし、令和5年度以降は若干の増加傾向となりました。今後の予測が難しいため、令和6年度実績が続くものと考えました。

年度	実績値	推計値							採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
R2	461								
3	439								
4	508								
5	217								
6	258								
7		188	-190	204	251	226	261	193	258
8		125	-667	169	236	188	239	134	258
9		63	-1,272	140	223	153	221	88	258
10		0	-2,003	116	212	119	204	56	258
11		-63	-2,861	97	203	88	190	35	258
12		-126	-3,846	80	195	58	176	21	258
13		-188	-4,957	67	188	29	164	13	258
14		-251	-6,194	55	182	2	153	8	258
15		-314	-7,559	46	177	-25	143	5	258
16		-377	-9,050	38	171	-50	133	3	258
17		-440	-10,667	32	167	-75	124	2	258
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \sqrt{x}$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	
	定数 a	564.81000	18.70667	623.49293		702.37007	509.61009	0	
	定数 b	-62.77000	345.19000	0.82990	-0.41782	-194.37911	-320.10217	-0.51659	
	定数 c		-63.31667						
	収束値 k							558	
	相関係数	0.77028	0.49678	0.74269	0.64958	0.73860	0.69378	0.79303	
	相関順位	2	7	3	6	4	5	1	
	数値順位	6	7	3	1	5	2	4	

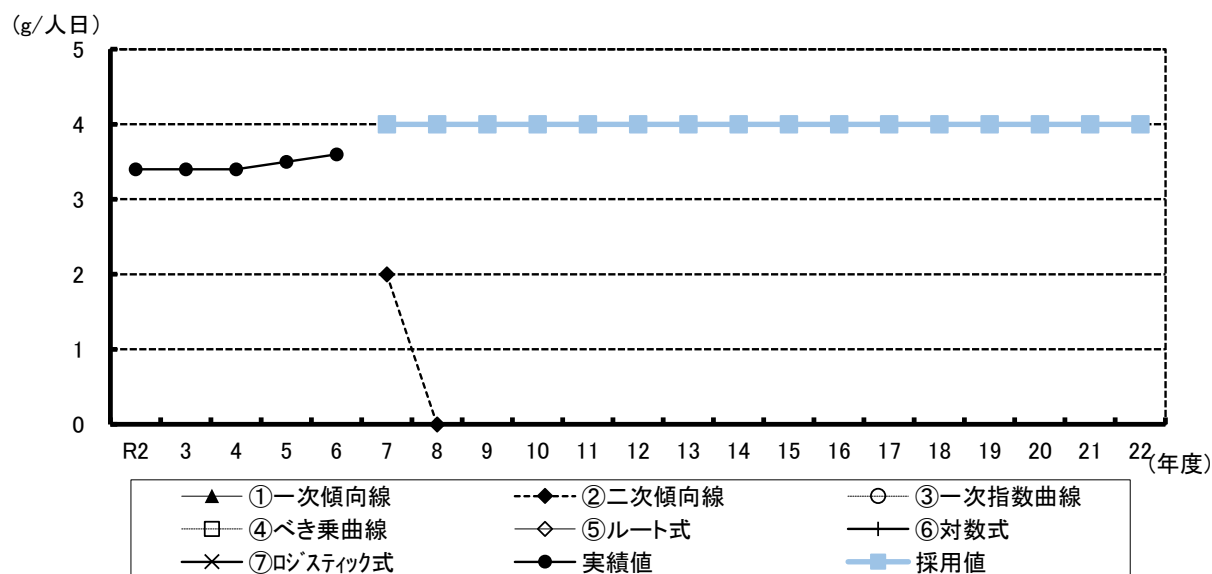


参考図 7 燃やすごみの予測結果

(2) 資源ごみ

二次傾向線を除く全ての式で同値という結果となりました。

年度	実績値	推計値							採用値
		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
R2	3.4								
3	3.4								
4	3.4								
5	3.5								
6	3.6								
7		4	2	4	4	4	4	4	4
8		4	0	4	4	4	4	4	4
9		4	-3	4	4	4	4	4	4
10		4	-7	4	4	4	4	4	4
11		4	-11	4	4	4	4	4	4
12		4	-16	4	4	4	4	4	4
13		4	-21	4	4	4	4	4	4
14		4	-27	4	4	4	4	4	4
15		4	-34	4	4	4	4	4	4
16		4	-42	4	4	4	4	4	4
17		4	-50	4	4	4	4	4	4
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \sqrt{x}$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=\frac{k}{(1+a \cdot e^{-bx})}$	
	定数 a	3.31000	0.14417	3.31353	3.35869	3.20467	3.35730	0	
	定数 b	0.05000	2.30018	1.01443	0.03076	0.15230	0.24696	0.12237	
	定数 c		-0.33899						
	収束値 k							4	
	相関係数	0.88481	0.11837	0.88855	0.76769	0.82980	0.76337	0.85946	
	相関順位	2	7	1	5	4	6	3	
	数値順位	1	7	1	1	1	1	1	



参考図 8 資源ごみの予測結果

参考表 1　ごみ排出量等の実績と見込み（ケースⅠ）

		実績					見込み										備考		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16			R17
人口(3月31日) (人)		8,174	8,146	7,960	7,793	7,668	7,450	7,350	7,270	7,200	7,135	7,081	7,033	6,985	6,937	6,889	6,843	(1)	おい町人口ビジョン
年間日数 (日)		365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	(2)	年間日数
総排出量 (t/年)		3,492	3,294	3,456	2,856	2,864	2,872	2,875	2,876	2,857	2,841	2,825	2,813	2,789	2,770	2,751	2,742	(3)	= (4) + (5)
家庭系ごみ (t/年)		2,106	1,980	1,971	2,228	2,131	2,159	2,171	2,178	2,167	2,158	2,147	2,138	2,120	2,106	2,092	2,085	(4)	= (6)
事業系ごみ (t/年)		1,386	1,314	1,485	628	733	713	704	698	690	683	678	675	669	664	659	657	(5)	= (20)
家庭系ごみ (t/年)		2,106	1,980	1,971	2,228	2,131	2,159	2,171	2,178	2,167	2,158	2,147	2,138	2,120	2,106	2,092	2,085	(6)	= SUM ((7)、(10)、(13)、(16)、(19))
燃やすごみ (t/年)		1,201	1,194	1,202	1,745	1,680	1,719	1,738	1,751	1,745	1,740	1,732	1,727	1,713	1,702	1,692	1,686	(7)	= (29) * (1) * 年間日数/10^6
収集 (t/年)		1,176	1,164	1,171	1,544	1,473	1,612	1,630	1,642	1,637	1,632	1,625	1,620	1,607	1,596	1,587	1,581	(8)	= (7) - (9)
直接搬入 (t/年)		25	30	31	201	207	107	108	109	108	108	107	107	106	106	105	105	(9)	= (7) * 平均割合 6.2%
埋立ごみ (t/年)		430	326	323	133	114	111	109	108	107	106	105	105	104	103	102	102	(10)	= (33) * (1) * 年間日数/10^6
収集 (t/年)		95	92	83	69	54	39	38	38	38	37	37	37	37	36	36	36	(11)	= (10) - (12)
直接搬入 (t/年)		335	234	240	64	60	72	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	(12)	= (10) * 平均割合 64.9%
資源ごみ (t/年)		382	371	361	271	262	255	251	249	246	244	242	241	239	237	235	234	(13)	= (34) * (1) * 年間日数/10^6
収集 (t/年)		382	371	361	271	262	255	251	249	246	244	242	241	239	237	235	234	(14)	= (13) - (15)
直接搬入 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(15)	= (13) * 平均割合 0.0%
その他のごみ (t/年)		2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(16)	= (36) * (1) * 年間日数/10^6
収集 (t/年)		2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(17)	= (16) - (18)
直接搬入 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(18)	= (16) * 平均割合 0.0%
集団回収 (t/年)		91	87	83	78	72	71	70	67	66	65	65	62	61	61	60	60	(19)	= (37) * (1) * 年間日数/10^6
事業系ごみ (t/年)		1,386	1,314	1,485	628	733	713	704	698	690	683	678	675	669	664	659	657	(20)	= (21) + (24)
燃やすごみ (t/年)		1,376	1,304	1,475	618	723	702	693	687	679	673	668	665	659	654	649	647	(21)	= (40) * (1) * 年間日数/10^6
許可 (t/年)		0	0	0	255	324	121	119	118	117	116	115	114	113	112	112	111	(22)	= (21) - (23)
直接搬入 (t/年)		1,376	1,304	1,475	363	399	581	574	569	562	557	553	551	546	542	537	536	(23)	= (21) * 平均割合 82.8%
資源ごみ (t/年)		10	10	10	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	(24)	= (43) * (1) * 年間日数/10^6
収集 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(25)	= (24) - (26)
直接搬入 (t/年)		10	10	10	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	(26)	= (24) * 平均割合 100.0%
1人1日当たりごみ排出量 (g/人日)		1,170.4	1,107.9	1,189.5	1,001.3	1,023.3	1,056.2	1,071.7	1,080.9	1,087.1	1,090.9	1,093.0	1,092.8	1,093.9	1,094.0	1,094.1	1,094.8	(27)	= (3) / (1) / 年間日数*10^6
家庭系ごみ (g/人日)		705.9	665.9	678.4	781.1	761.4	794.0	809.2	818.5	824.6	828.6	830.7	830.6	831.5	831.8	832.0	832.5	(28)	= (4) / (1) / 年間日数*10^6
燃やすごみ (g/人日)		402.5	401.6	413.7	611.8	600.3	632.0	648.0	658.0	664.0	668.0	670.0	671.0	672.0	672.0	673.0	673.0	(29)	推計式
																		(30)	
																		(31)	
																		(32)	
埋立ごみ (g/人日)		144.1	109.6	111.2	46.6	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	(33)	推計式
資源ごみ (g/人日)		128.0	124.8	124.3	95.0	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	(34)	推計式
																		(35)	
その他ごみ (g/人日)		0.7	0.7	0.7	0.4	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	(36)	推計式
集団回収 (g/人日)		30.5	29.3	28.6	27.3	25.7	26.0	26.0	25.0	25.0	25.0	25.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	(37)	推計式
家庭系ごみ(資源除く) (g/人日)		547.3	511.9	525.6	658.8	642.1	674.1	689.6	699.8	705.9	710.0	711.9	712.9	713.9	714.1	714.7	715.1	(38)	= SUM ((6)、-(13)、-(19))/(1)/年間日数*10^6
事業系ごみ (g/人日)		464.6	441.9	511.1	220.2	261.9	262.20	262.42	262.33	262.56	262.26	262.33	262.23	262.40	262.24	262.08	262.32	(39)	= (5) / (1) / 年間日数*10^6
燃やすごみ (g/人日)		461.2	438.6	507.7	216.7	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	258.3	(40)	推計式
																		(41)	
																		(42)	
資源ごみ (g/人日)		3.4	3.4	3.4	3.5	3.6	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	(43)	推計式
																		(44)	
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く) (g/人日)		1,139.9	1,078.6	1,160.9	974.0	997.6	1,030.2	1,045.7	1,055.9	1,062.1	1,065.9	1,068.0	1,068.8	1,069.9	1,070.0	1,070.1	1,070.8	(45)	= (27) - (37)

		実績					見込み											備考	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17		
焼却処理量 (t/年)		2,577	2,498	2,677	2,363	2,403	2,421	2,431	2,438	2,424	2,413	2,400	2,392	2,372	2,356	2,341	2,333	(46)	= (47) + (48)
	直接焼却量 (t/年)	2,577	2,498	2,677	2,363	2,403	2,421	2,431	2,438	2,424	2,413	2,400	2,392	2,372	2,356	2,341	2,333	(47)	= (7) + (21)
	資源化施設からの残渣 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(48)	= 0
1人1日当たりごみ焼却量 (g/人日)		863.7	840.1	921.4	828.5	858.6	890.3	906.2	916.3	922.4	926.6	928.6	929.3	930.4	930.5	931.0	931.5	(49)	= (46) / (1) / 年間日数*10^6
資源化施設 (t/年)		394	383	373	282	275	269	265	263	260	257	255	254	252	250	248	247	(50)	= (51) + (52) + (53)
	埋立ごみ(直接埋立除く) (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(51)	= (10) - (65)
	資源ごみ(直接資源化除く) (t/年)	392	381	371	281	272	266	262	260	257	254	252	251	249	247	245	244	(52)	= (13) + (24)
	粗大ごみ (t/年)	2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(53)	= (16)
資源化量 (t/年)		483	468	454	359	344	337	332	327	323	319	317	313	310	308	305	304	(54)	= (13) + (19) + (24)
	紙類(容器包装等含む) (t/年)	237	227	228	196	194	190	187	184	182	180	179	177	175	174	172	171	(55)	= (54) * R6割合 56.4%
	金属類 (t/年)	120	108	113	86	81	79	78	77	76	75	74	74	73	72	72	71	(56)	= (54) * R6割合 23.5%
	ガラス類 (t/年)	47	51	30	41	38	37	37	36	36	35	35	34	34	34	34	33	(57)	= (54) * R6割合 11.0%
	ペットボトル (t/年)	24	30	31	30	26	26	25	25	25	24	24	24	24	23	23	23	(58)	= (54) * R6割合 7.6%
	容器包装プラ (t/年)	48	45	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(59)	= 0
	その他プラ (t/年)	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(60)	= 0
	布類 (t/年)	0	0	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	(61)	= (54) * R6割合 1.5%
資源化率 (%)		13.8	14.2	13.1	12.6	12.0	11.7	11.5	11.4	11.3	11.2	11.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	(63)	= (54) / (3)
最終処分量 (t/年)		761	653	631	359	334	383	382	382	379	377	375	374	371	368	364	363	(64)	= (65) + (66) + (67)
	直接埋立 (t/年)	430	326	323	133	114	111	109	108	107	106	105	105	104	103	102	102	(65)	= (10) * 平均割合 100.0%
	焼却残渣 (t/年)	331	327	306	225	220	271	272	273	271	270	269	268	266	264	262	261	(66)	= (46) * 平均割合 11.2%
	不燃残渣 (t/年)	0	0	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	(67)	= (68)
	資源化施設 (t/年)	0	0	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	(68)	= (50) * 平均割合 0.2%
1人1日当たりの最終処分量 (g/人日)		255.1	219.6	217.2	125.9	119.3	140.8	142.4	143.6	144.2	144.8	145.1	145.3	145.5	145.3	144.8	144.9	(69)	= (64) / (1) / 年間日数*10^6
最終処分率 (%)		21.8	19.8	18.3	12.6	11.7	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.2	13.2	(70)	= (64) / (3)

参考表 2 ごみ排出量等の実績と見込み（ケースⅡ）

		実績					見込み										備考			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16			R17	
人口(3月31日)	(人)	8,174	8,146	7,960	7,793	7,668	7,450	7,350	7,270	7,200	7,135	7,081	7,033	6,985	6,937	6,889	6,843	(1)	おい町人口ビジョン	
年間日数	(日)	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	(2)	年間日数	
総排出量	(t/年)	3,492	3,294	3,456	2,856	2,864	2,872	2,744	2,716	2,679	2,653	2,631	2,615	2,586	2,566	2,546	2,534	(3)	= (4) + (5)	
家庭系ごみ	(t/年)	2,106	1,980	1,971	2,228	2,131	2,159	2,041	2,019	1,991	1,971	1,954	1,941	1,919	1,903	1,888	1,878	(4)	= (6)	
	(t/年)	1,386	1,314	1,485	628	733	713	703	697	688	682	677	674	667	663	658	656	(5)	= (20)	
家庭系ごみ	(t/年)	2,106	1,980	1,971	2,228	2,131	2,159	2,041	2,019	1,991	1,971	1,954	1,941	1,919	1,903	1,888	1,878	(6)	= SUM ((7)、(10)、(13)、(16)、(19))	
燃やすごみ	(t/年)	1,201	1,194	1,202	1,745	1,680	1,719	1,594	1,565	1,530	1,501	1,474	1,453	1,423	1,398	1,374	1,353	(7)	= (29) * (1) * 年間日数/10^6	
	収集	(t/年)	1,176	1,164	1,171	1,544	1,473	1,612	1,495	1,468	1,435	1,408	1,383	1,363	1,335	1,311	1,289	1,269	(8)	= (7) - (9)
直接搬入	(t/年)	25	30	31	201	207	107	99	97	95	93	91	90	88	87	85	84	(9)	= (7) * 平均割合 6.2%	
埋立ごみ	(t/年)	430	326	323	133	114	111	109	108	107	106	105	105	104	103	102	102	(10)	= (33) * (1) * 年間日数/10^6	
収集	(t/年)	95	92	83	69	54	39	38	38	38	37	37	37	37	36	36	36	(11)	= (10) - (12)	
	直接搬入	(t/年)	335	234	240	64	60	72	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	(12)	= (10) * 平均割合 64.9%
資源ごみ	(t/年)	382	371	361	271	262	255	265	276	285	296	307	318	328	338	349	360	(13)	= (34) * (1) * 年間日数/10^6	
収集	(t/年)	382	371	361	271	262	255	265	276	285	296	307	318	328	338	349	360	(14)	= (13) - (15)	
	直接搬入	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(15)	= (13) * 平均割合 0.0%	
その他のごみ	(t/年)	2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(16)	= (36) * (1) * 年間日数/10^6	
	収集	(t/年)	2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(17)	= (16) - (18)	
直接搬入	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(18)	= (16) * 平均割合 0.0%	
集団回収	(t/年)	91	87	83	78	72	71	70	67	66	65	65	62	61	61	60	60	(19)	= (37) * (1) * 年間日数/10^6	
事業系ごみ	(t/年)	1,386	1,314	1,485	628	733	713	703	697	688	682	677	674	667	663	658	656	(20)	= (21) + (24)	
燃やすごみ	(t/年)	1,376	1,304	1,475	618	723	702	680	661	639	621	603	588	569	553	536	522	(21)	= (40) * (1) * 年間日数/10^6	
	許可	(t/年)	0	0	0	255	324	121	117	114	110	107	104	101	98	95	92	90	(22)	= (21) - (23)
直接搬入	(t/年)	1,376	1,304	1,475	363	399	581	563	547	529	514	499	487	471	458	444	432	(23)	= (21) * 平均割合 82.8%	
資源ごみ	(t/年)	10	10	10	10	10	11	23	36	49	61	74	86	98	110	122	134	(24)	= (43) * (1) * 年間日数/10^6	
収集	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(25)	= (24) - (26)	
	直接搬入	(t/年)	10	10	10	10	10	11	23	36	49	61	74	86	98	110	122	134	(26)	= (24) * 平均割合 100.0%
1人1日当たりごみ排出量	(g/人日)	1,170.4	1,107.9	1,189.5	1,001.3	1,023.3	1,056.2	1,022.8	1,020.7	1,019.4	1,018.7	1,018.0	1,015.9	1,014.3	1,013.4	1,012.5	1,011.8	(27)	= (3) / (1) / 年間日数*10^6	
家庭系ごみ	(g/人日)	705.9	665.9	678.4	781.1	761.4	793.4	760.7	758.7	757.7	756.7	755.7	753.7	752.7	751.7	750.7	749.7	(28)	=	
	燃やすごみ	(g/人日)	402.5	401.6	413.7	611.8	600.3	632.0	594.3	588.3	582.3	576.3	570.3	564.3	558.3	552.3	546.3	540.3	(29)	= R6年度実績- SUM ((36):(38))
	資源ごみの分別	(g/人日)							5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	(30)	紙類分別想定量
	食品ロス	(g/人日)							0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	(31)	食品ロス削減想定量
	水切り	(g/人日)							0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	(32)	水切り想定量
	埋立ごみ	(g/人日)	144.1	109.6	111.2	46.6	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	40.7	(33)	= R6年度実績
	資源ごみ	(g/人日)	128.0	124.8	124.3	95.0	93.6	93.6	98.6	103.6	108.6	113.6	118.6	123.6	128.6	133.6	138.6	143.6	(34)	= R6年度実績 + (35)
	資源ごみの分別	(g/人日)							5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	(35)	= (30)
	その他のごみ	(g/人日)	0.7	0.7	0.7	0.4	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	(36)	推計式
	集団回収	(g/人日)	30.5	29.3	28.6	27.3	25.7	26.0	26.0	25.0	25.0	25.0	25.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	(37)	推計式
家庭系ごみ(資源除く)	(g/人日)	547.3	511.9	525.6	658.8	642.1	674.1	635.9	629.9	624.0	618.2	612.1	606.4	600.1	594.0	588.2	582.1	(38)	= SUM ((6)、-(13)、-(19))/(1)/年間日数*10^6	
事業系ごみ	(g/人日)	464.6	441.9	511.1	220.2	261.9	262.3	262.0	261.9	261.8	261.9	261.9	261.8	261.6	261.8	261.7	261.9	(39)	= (5) / (1) / 年間日数*10^6	
燃やすごみ	(g/人日)	461.2	438.6	507.7	216.7	258.3	258.3	253.3	248.3	243.3	238.3	233.3	228.3	223.3	218.3	213.3	208.3	(40)	= R6年度実績 + (41)	
	資源ごみの分別	(g/人日)							5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	(41)	紙類分別想定量
食品ロス	(g/人日)								0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	(42)	食品ロス削減想定量
資源ごみ	(g/人日)	3.4	3.4	3.4	3.5	3.6	4.0	8.6	13.6	18.6	23.6	28.6	33.6	38.6	43.6	48.6	53.6	(43)	= R6年度実績 + (44)	
資源ごみの分別	(g/人日)								5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	(44)	紙類分別想定量
1人1日当たりごみ排出量(集団回収除く)	(g/人日)	1,139.9	1,078.6	1,160.9	974.0	997.6	1,030.2	996.8	995.7	994.4	993.7	993.0	991.9	990.3	989.4	988.5	987.8	(45)	= (27) - (37)	

		実績					見込み											備考		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17			
焼却処理量 (t/年)		2,577	2,498	2,677	2,363	2,403	2,421	2,274	2,226	2,169	2,122	2,077	2,041	1,992	1,951	1,910	1,875	(46)	=	(47) + (48)
	直接焼却量 (t/年)	2,577	2,498	2,677	2,363	2,403	2,421	2,274	2,226	2,169	2,122	2,077	2,041	1,992	1,951	1,910	1,875	(47)	=	(7) + (21)
	資源化施設からの残渣 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(48)	=	0
1人1日当たりごみ焼却量 (g/人日)		863.7	840.1	921.4	828.5	858.6	890.3	847.6	836.6	825.3	814.8	803.6	792.9	781.3	770.5	759.6	748.6	(49)	=	(46) / (1) / 年間日数*10^6
資源化施設 (t/年)		394	383	373	282	275	269	291	315	337	360	384	407	429	451	474	497	(50)	=	(51) + (52) + (53)
	埋立ごみ(直接埋立除く) (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(51)	=	(10) - (65)
	資源ごみ(直接資源化除く) (t/年)	392	381	371	281	272	266	288	312	334	357	381	404	426	448	471	494	(52)	=	(13) + (24)
	粗大ごみ (t/年)	2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(53)	=	(16)
資源化量 (t/年)		483	468	454	359	344	337	358	379	400	422	446	466	487	509	531	554	(54)	=	(13) + (19) + (24)
	紙類(容器包装等含む) (t/年)	237	227	228	196	194	190	215	238	261	284	308	331	352	377	398	421	(55)	別途計算	
	金属類 (t/年)	120	108	113	86	81	79	77	76	75	75	75	73	73	71	72	72	(56)	=	(54) * R6割合※ 54.0%
	ガラス類 (t/年)	47	51	30	41	38	37	36	36	35	35	35	34	34	33	34	34	(57)	=	(54) * R6割合※ 25.3%
	ペットボトル (t/年)	24	30	31	30	26	25	25	24	24	24	24	23	23	23	23	23	(58)	=	(54) * R6割合※ 17.3%
	容器包装プラ (t/年)	48	45	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(59)	=	0
	その他プラ (t/年)	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(60)	=	0
	布類 (t/年)	0	0	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	(61)	=	(54) * R6割合※ 3.3%
紙類除く資源化量 (t/年)		246	241	226	163	150	147	143	141	139	138	138	135	135	132	133	133	(62)	=	
資源化率 (%)		13.8	14.2	13.1	12.6	12.0	11.7	13.0	14.0	14.9	15.9	17.0	17.8	18.8	19.8	20.9	21.9	(63)	=	(54) / (3)
最終処分量 (t/年)		761	653	631	359	334	383	365	358	351	345	339	335	328	323	316	312	(64)	=	(65) + (66) + (67)
	直接埋立 (t/年)	430	326	323	133	114	111	109	108	107	106	105	105	104	103	102	102	(65)	=	(10) * 平均割合 100.0%
	焼却残渣 (t/年)	331	327	306	225	220	271	255	249	243	238	233	229	223	219	214	210	(66)	=	(46) * 平均割合 11.2%
	不燃残渣 (t/年)	0	0	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	(67)	=	(68)
	資源化施設 (t/年)	0	0	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	(68)	ケース1と同値	
1人1日当たりの最終処分量 (g/人日)		255.1	219.6	217.2	125.9	119.3	140.8	136.1	134.5	133.6	132.5	131.2	130.1	128.7	127.6	125.7	124.6	(69)	=	(64) / (1) / 年間日数*10^6
最終処分率 (%)		21.8	19.8	18.3	12.6	11.7	13.3	13.3	13.2	13.1	13.0	12.9	12.8	12.7	12.6	12.4	12.3	(70)	=	(64) / (3)

※別途計算

紙類	(t/年)	84	80	77	72	67	66	65	64	63	62	62	61	60	60	59	59	(71)	
	燃やすごみからの分別分 (t/年)						0	5	10	15	20	25	30	35	40	44	49	(72)	
	合計 (t/年)						66	70	74	78	82	87	91	95	100	103	108	(73)	
紙製容器包装	(t/年)	153	147	151	124	126	123	122	120	118	117	116	115	113	113	112	111	(74)	
	燃やすごみからの分別分 (t/年)						0	22	43	64	84	104	124	142	162	181	200	(75)	
	合計 (t/年)						123	144	163	182	201	220	239	255	275	293	311	(76)	
紙パック	(t/年)	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(77)	
	燃やすごみからの分別分 (t/年)						0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	(78)	
	合計 (t/年)						1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	(79)	
紙類合計		237	227	228	196	194												(80)	
	燃やすごみからの分別分 (t/年)	0	0	0	0	0	0	27	53	79	104	129	154	178	203	226	250	(81)	
	合計 (t/年)	237	227	228	196	194	190	215	238	261	284	308	331	352	377	398	421	(82)	